デジタルカメラ

μ DIGITAL 600

取扱説明書

応用編

カメラを使いこなすための
すべての機能について説明しています。

カメラの基本操作

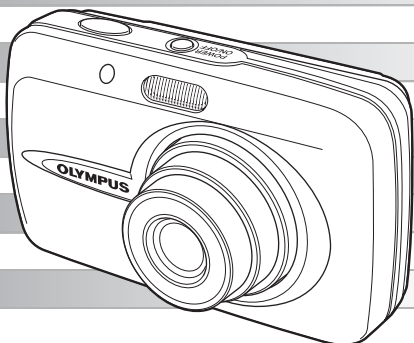
基本的な撮影

いろいろな撮影

いろいろな再生

プリント

パソコンでの活用

カメラの設定

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

取扱説明書の使い方

●「基本編」と「応用編」について

このカメラの取扱説明書は、基本編と応用編（本書）の2冊で構成されています。

基本編 撮影して再生するまで、すぐにできるように簡単に説明しています。さっそく撮ってみましょう。また、カメラの代表的な機能の他、プリントする場合やパソコンで活用する方法についても紹介しています。

応用編 カメラの使い方に慣れたら、カメラの他の機能も使ってみましょう。もっときれいに、もっと楽しく撮れるように多くの機能が用意されています。

●表記について

本書の表記について説明します。

! ご注意

故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。

? *ヒント*

活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。

☞

本書での参照先のページを書いています。

取扱説明書の構成

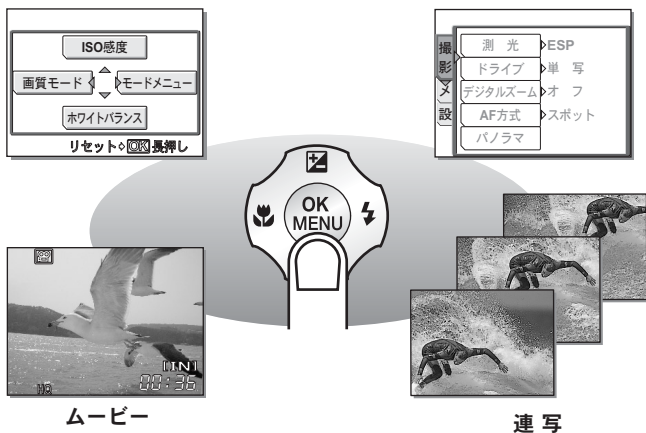
各章の扉ページには、それぞれの章に関連したコラムを記載しています。ぜひご覧ください。

もくじ

4 いろいろな撮影機能 - 45

5 再生 - 56

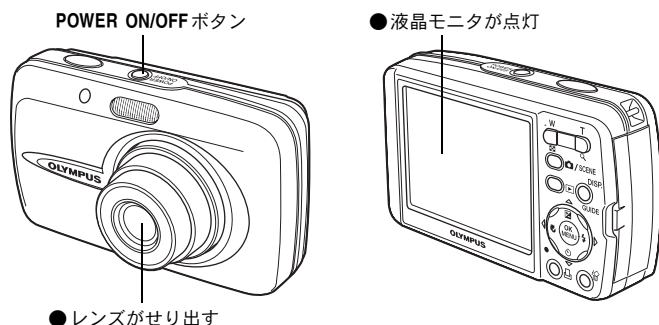
1 カメラの基本操作

いろいろな機能があるのは知っているけれど、なんだかむずかしそう、などと思っていませんか。
デジタルカメラを使うあなたはボタンを操作するだけ。メニューを設定すれば、取り込む光の量を調整する、ピント合わせの範囲を変えるなどの機能を簡単に使いこなすことができます。
メニューの設定は、液晶モニタを見ながらボタン操作で行います。各機能の説明を読む前に、まずはボタンとメニューの操作方法をマスターしましょう。

撮影ボタンと再生ボタンの使い方

このカメラには撮影モードと再生モードがあります。撮影するときや撮影に関する設定をするときは撮影モードにします。撮影した画像を表示するときや撮影した画像の編集を行うときなどは再生モードにします。
POWER ON/OFF ボタンを押すと撮影モードで、▶ボタンを押すと再生モードで電源を入れることができます。撮影モードと再生モードは、📷/SCENE ボタンまたは▶ボタンを押して切り換えます。

●撮影モードで電源を入れる

電源オフの状態で、POWER ON/OFF ボタンを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。この状態で撮影できます。

電源を切るには•••

→ **POWER ON/OFF** ボタンを押します。レンズが収納されて液晶モニタが消灯します。

再生モードにするには•••

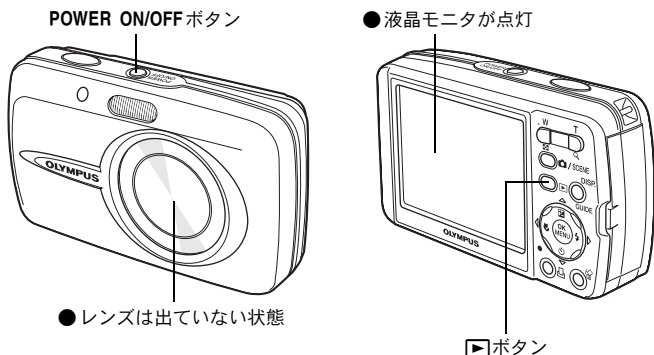
→ ▶ボタンを押します。レンズがせり出した状態で再生モードになります。撮影モードに戻るときは、📷/SCENE ボタンを押します。

撮影モードで📷/SCENE ボタンを押すと•••

→ 📷/SCENE ボタンを押すたびに、通常の撮影モードとぶれ軽減、シーン選択画面（SCENEモード）が切り換わります。通常の撮影モードは**P**オートに設定されています。シーン選択画面では、撮影シーンに合わせた**SCENE**を選択することができます。☞「撮影したいものに合わせて設定する（📷/SCENE）」（P.33）

●再生モードで電源を入れる

電源オフの状態で、▶ボタンを押します。

- 再生モードで電源が入ります。液晶モニタに最後に撮影した画像が表示されます。

電源を切るには•••

→POWER ON/OFFボタンを押します。液晶モニタが消灯します。

撮影モードにするには•••

→📷/SCENE ボタンを押します。レンズがせり出し、撮影モードになります。再生モードに戻るときは、▶ボタンを押します。レンズはせり出した状態のままです。

ご注意

- 電源を入れた後に液晶モニタが一瞬光り、しばらくしてから画像が表示されることがありますが、故障ではありません。

ヒント

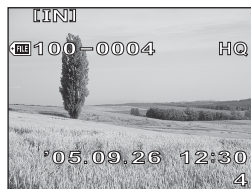
- 右の画面が表示されたときは、日時設定が初期設定に戻っています。日時を設定すると撮影した画像をカレンダー再生するときなど便利です。
☞「日付・時刻を設定する（日時設定）」（P.88）

●撮影モード・再生モードを切り換える

📷/SCENE ボタンまたは ▶ ボタンを押して、撮影モードと再生モードを切り換えることができます。

撮影するとき（撮影モード）

▶ボタンを押す

📷/SCENE ボタンを押す

- 液晶モニタに被写体が表示されます。
- 液晶モニタに最後に撮影した画像が表示されます。

撮影モード・再生モードの表記

本書では、各機能を操作するときのカメラの状態を以下のアイコンで示します。2つのアイコンが表示されている場合は、どちらのモードでも操作できることを示します。

📷/SCENE　撮影モードであることを示します。

▶　再生モードであることを示します。

撮影ボタンの機能を変更する

工場出荷時には 📷/SCENE ボタンでは電源を入れることができません。**POWER ON/OFF** ボタンを押したときと同様に、📷/SCENE ボタンで電源を入れる設定に変更することができます。

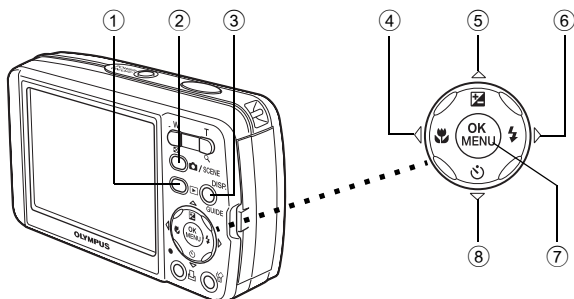
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［📷］▶［起動する］／［起動しない］

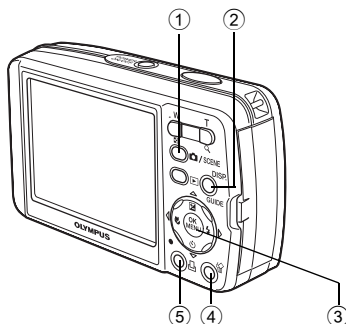
☞「メニューの操作方法」（P.17）

- ［起動する］に設定すると、📷/SCENE ボタンを押して撮影モードで電源を入れることができます。

ダイレクトボタン

このカメラは、ダイレクトに機能が設定できるボタンを備えています。撮影モードと再生モードで使用できるボタンが異なります。

撮影モードのダイレクトボタン操作

①	▶ボタン（再生）	☞P.11
	再生モードに切り換えます。	
②	📷/SCENE ボタン（撮影）	☞P.36
	通常の撮影モード（**P** オート）とぶれ軽減、シーン選択画面（SCENE モード）を切り換えます。	
③	**DISP.／GUIDE**ボタン	☞P.19、54
	メニューを表示した状態で押すと、そのメニュー機能の説明が表示されます。撮影待機状態で繰り返し押すと、構図線やヒストグラムの表示／非表示を切り換えます。	
④	◁🌷ボタン（マクロ）	☞P.40
	マクロ撮影またはスーパーマクロ撮影を切り換えます。	
⑤	△☒ボタン（露出補正）	☞P.46
	露出補正値を変更します。	
⑥	▷⚡ボタン（フラッシュモード）	☞P.41
	フラッシュモードを切り換えます。	
⑦	Ⓞボタン（OK／MENU）	☞P.14
	撮影モードのトップメニューを表示します。	
⑧	▽Ⓢボタン（セルフタイマー）	☞P.43
	セルフタイマー機能のオン／オフを切り換えます。	

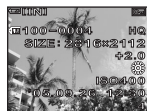
再生モードのダイレクトボタン操作

①	/SCENEボタン（撮影）	☞P.11

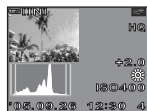
撮影モードに切り換えます。

②	**DISP.／GUIDE**ボタン	☞P.19

メニューを表示した状態で押すと、そのメニュー機能の説明が表示されます。再生中に繰り返し押すと、以下の順番で表示が切り換わります。

通常の再生画面が表示されます。

詳細情報が表示されます。

のみが表示されます。

ヒストグラムが表示されます。

③	ボタン（OK／MENU）	☞P.14

再生モードのトップメニューを表示します。

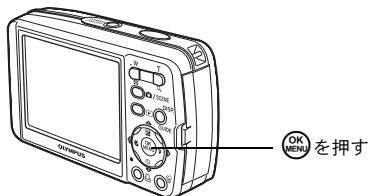
④	ボタン（消去）	☞P.66、79

表示している画像を消去します。

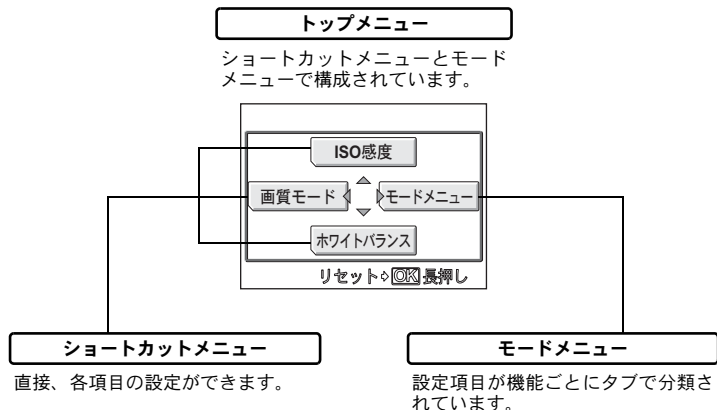
⑤	ボタン（プリント）	☞P.93

表示している画像をプリントします。

メニュー

撮影モードまたは再生モードで OK/MENU を押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。カメラの各設定はこのメニューで行います。

メニューの種類

撮影モードと再生モードでは、表示されるメニュー項目が異なります。

ヒント

- トップメニューで OK/MENU を長押しすると、以下の機能にジャンプします。

  撮影モード

  ［リセット］画面が表示されます。☞「変更した設定を初期値に戻す（リセット）」（P.83）

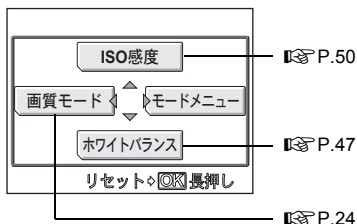
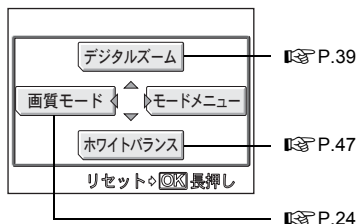
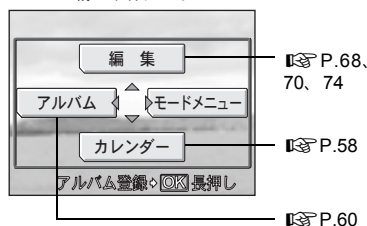
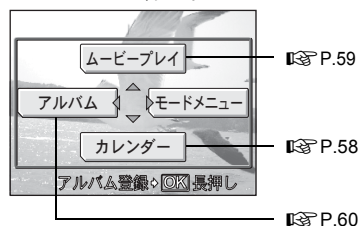
  再生モード

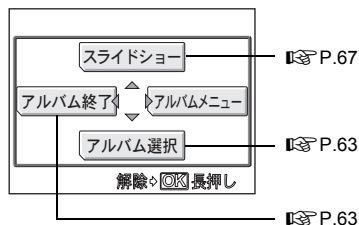
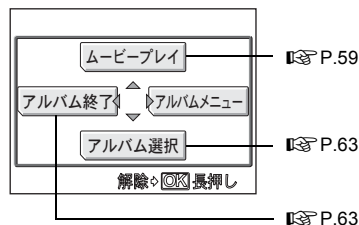
  ［アルバム登録］画面が表示されます。☞「撮影した画像をアルバムに入れる（アルバム登録）」（P.61）

  アルバム再生モード

  ［解除］画面が表示されます。☞「アルバム登録を解除する（解除）」（P.64）

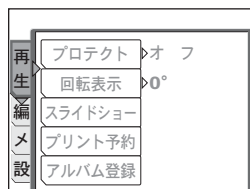
ショートカットメニュー

●撮影モード

●再生モード

アルバム再生モードの場合

モードメニュー

●撮影モード

撮影タブ	撮影に関する設定をします。
メモリ／カードタブ	全コマ消去やカードのフォーマットを行います。また、内蔵メモリのデータをカードに保存します。
設定タブ	カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。

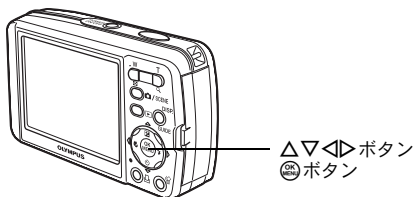
●再生モード

再生タブ	再生に関する設定をします。
編集タブ	撮影した画像を編集します。トップメニューから［編集］を選択した場合も同じ画面が表示されます。
メモリ／カードタブ	全コマ消去やカードのフォーマットを行います。また、内蔵メモリのデータをカードに保存します。
設定タブ	カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。

? *ヒント*

- 内蔵メモリを使用している場合は［メモリ］タブ、カメラにカードをセットしている場合は［カード］タブが表示されます。
- モードメニューの各項目については「メニュー一覧」（P.142）を参照してください。

メニューの操作方法

メニューは十字ボタンと OK を使って設定します。
メニュー画面に使用する十字ボタンや操作ガイドが表示されますので、それにしたがって選択、設定します。

例：［スライドショー］を設定する場合

1 **▶ボタンを押して、再生モードにします。**

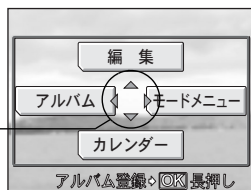
2 **OK を押します。**

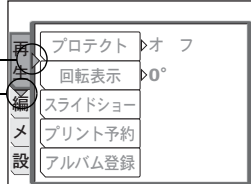
- トップメニューが表示されます。

トップメニュー

編　集
アルバム
モードメニュー
カレンダー
アルバム登録 ⇒ OK 長押し

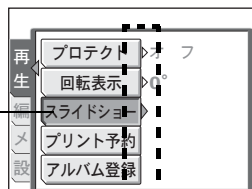
3 **▷を押して［モードメニュー］を選択します。**

十字ボタン（△▽◁▷）を表しています。

4 **△▽ を押して［再生］タブを選択し、▷を押します。**

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択、設定します。

十字ボタン（▷▽）を表しています。

5 △▽を押して［スライドショー］を選択し、▷を押します。

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択、設定します。
- 設定できない項目は選択できません。

選択した項目は色が変わって表示されます。

次の設定を行う場合は▷を押します。

6 △▽ を押して［標準］［フェード］［スライド］［ズーム］から選択し、OK/MENUを押します。

- 画面下の操作ガイドにしたがって、十字ボタンを押して設定、変更します。

操作ガイド

△▽を押して項目を選択します。

OK/MENUを押して設定内容を決定します。

メニュー操作の表記

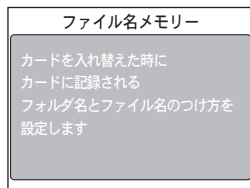
本書では、メニューでの操作手順を次のように表記しています。
- 例：［スライドショー］を設定する場合の手順1〜5

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［スライドショー］

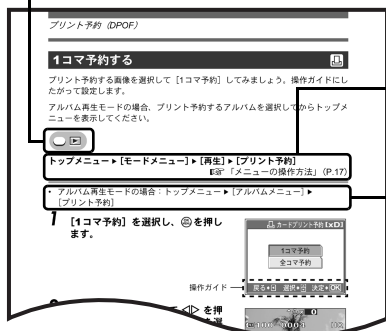
GUIDE機能を使う

このカメラでは**GUIDE**機能が用意されています。撮影モードまたは再生モードでメニュー項目の選択中に**DISP.／GUIDE**ボタンを押すと、そのメニューについて解説するメニューガイドが表示されます。

1 メニュー項目を選択した状態で DISP.／GUIDEボタンを押し続けます。

- メニューの説明が表示されます。
- **DISP.／GUIDE**ボタンから指を離すと、メニューガイドは消えます。

［ファイル名メモリー］選択時

操作ページの使い方

各機能の操作ページの表記について説明します。撮影・再生を始める前にご確認ください。

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

撮影前に知って おきたいこと

2

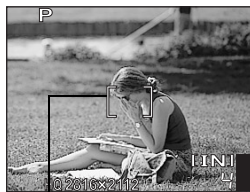
撮影モードでシャッターボタンを押すだけで、ほとんどの場合は上手く撮ることができます。でも、どうしても被写体にピントが合わない、被写体が暗く撮れてしまうなど、思い通りに撮れない・・・・ということはありませんか？
そんなとき、ちょっとした撮影のコツを活用したり、カメラの簡単な機能を使うだけで、問題が解消する場合もあります。
また、撮影後の画像の利用方法に合わせて画像サイズを選択して撮影すると、内蔵メモリやカードにより多くの画像を記録することができます。これも“ちょっとしたコツ”のひとつです。

ピントが合わないとき

ピントを合わせたいものがAFターゲットマークから外れる（中央にない）ときは、次の操作で構図の好きな場所にピントを固定して撮影することができます。これをフォーカスロックといいます。

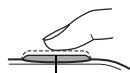
ピント合わせの方法（フォーカスロック）

1 **ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせます。**

- ピントが合いにくいものや速く走るものの場合、まず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。

AFターゲットマーク

2 **シャッターボタンを緑ランプが点灯するまで押します（半押し）。**

シャッターボタン

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントと露出が固定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

3 **半押しの状態のまま撮影したい構図にします。**

緑ランプ

4 **シャッターボタンを押し込みます（全押し）。**

- 撮影されます。カードアクセスランプが点滅している間は、画像の記録中です。

シャッターボタン

ヒント

ピントを画面中央にない被写体に合わせたい

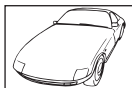
☞「ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）」（P.51）

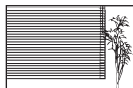
ご注意

- シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、ぶれる原因になります。
- カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池やACアダプタを抜かないでください。また、電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。
- 電源を切ったり、電池の交換や取り外しを行っても、撮影した画像はカメラに保存されています。
- 強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつくことがあります。

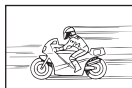
オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせた後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

2 撮影前に知っておきたいこと

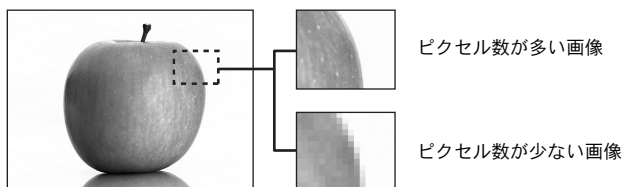
画質について

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。各画質モードでの画像サイズや撮影可能枚数・時間については、P.25～26の表をご覧ください。

静止画の画質モード

JPEG形式で静止画を記録します。
画質モードは、記録する画像のピクセル数と圧縮する度合いの組み合わせを表しています。
画像はピクセル（点）の集まりでできています。ピクセル数が少ない画像を拡大するとモザイク状に表示されます。ピクセル数が多い画像は1枚の画像のファイルサイズ（データの量）が大きくなり、記録できる枚数が少なくなりますが、密度が高く精細になります。圧縮率が高いほどファイルサイズは小さくなりますが、画像を表示したときに粗く見えます。

ピクセル数が多い画像

ピクセル数が少ない画像

<table>
<tr><th>画質モード</th><th>画像サイズ</th><th>圧縮</th><th>使用例</th></tr>
<tr><td>SHQ</td><td>2816 × 2112</td><td>低圧縮</td><td rowspan="2">撮影可能枚数は少なく、画像の記録に時間がかかるが、A4などの大きいサイズできれいにプリントしたり、パソコンでコントラストの調整や赤目補正などの加工を行うのに適している。</td></tr>
<tr><td>HQ</td><td>2816 × 2112</td><td>標準圧縮</td></tr>
<tr><td rowspan="4">SQ1</td><td>2560 × 1920</td><td rowspan="4">標準圧縮</td><td rowspan="4">はがき大のプリントやパソコンで画像上に文字を入力したり、画像の回転などの編集を行うのに適している。</td></tr>
<tr><td>2272 × 1704</td></tr>
<tr><td>2048 × 1536</td></tr>
<tr><td>1600 × 1200</td></tr>
<tr><td rowspan="3">SQ2</td><td>1280 × 960</td><td rowspan="2">標準圧縮</td><td>画質は標準的で撮影可能枚数は多い。パソコンで画像を見るのに適している。</td></tr>
<tr><td>1024 × 768</td><td rowspan="2">標準的な画質。メールに添付して送信するのに便利。</td></tr>
<tr><td>640 × 480</td><td>低圧縮</td></tr>
</table>

画像サイズ

画像を記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きな画像サイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、記録できる枚数は少なくなります。

圧縮

画像を圧縮して保存します。圧縮率が高いほど画質は粗くなります。

ムービーの画質モード

Motion-JPEG形式でムービーを記録します。

撮影可能枚数・撮影可能時間

静止画の場合

画質モード	画像サイズ	撮影可能枚数（枚）	
		内蔵メモリ	カード（128MBの場合）
SHQ	2816 × 2112	2	43
HQ	2816 × 2112	5	86
SQ1	2560 × 1920	6	105
	2272 × 1704	8	130
	2048 × 1536	9	163
	1600 × 1200	12	194
SQ2	1280 × 960	18	307
	1024 × 768	28	469
	640 × 480	46	726

ムービーの場合

画質モード	画像サイズ	撮影可能時間	
		内蔵メモリ	カード（128MBの場合）
SHQ	640 × 480 （15コマ／秒）	6秒	1分53秒
HQ	320 × 240 （15コマ／秒）	20秒	5分40秒
SQ	160 × 120 （15コマ／秒）	54秒	14分56秒

撮影可能枚数

撮影可能時間

ヒント

- 撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024 × 768 ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が 1024 × 768 のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280 × 1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。

ご注意

- 撮影可能枚数、撮影可能時間はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約、アルバム登録の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行っても枚数が変わらないことがあります。

画質モードを変更する

トップメニュー ▶［画質モード］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 静止画の場合は、［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］から選択します。

画質モード
SHQ 2816×2112
HQ 2816×2112
SQ1 2048×1536
SQ2 640×480
選択 決定 OK

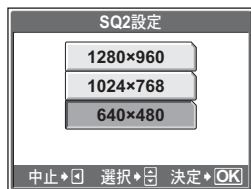
静止画の場合

ムービーの場合は、［SHQ 640 × 480］［HQ 320 × 240］［SQ 160 × 120］から選択します。

ムービーの場合

2 ［SQ1］［SQ2］を選択した場合は、▷を押して画像サイズを選択します。

［SQ2］の場合

3 (OK/MENU)を押します。

内蔵メモリとカードについて

撮影した画像はカメラの内蔵メモリに記録されます。
また、別売のxD-ピクチャーカード（以降カードと呼びます）に記録することもできます。カードを使うと内蔵メモリより多くの画像を記録しておくことができます。旅行などで枚数をたくさん撮影するときは、カードを使用すると便利です。

●内蔵メモリについて

内蔵メモリは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
内蔵メモリに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換したりすることはできません。

●内蔵メモリとカードの関係

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、液晶モニタの表示で確認できます。

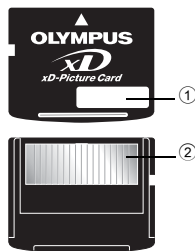
液晶モニタ表示	撮影モードのとき	再生モードのとき
［IN］	内蔵メモリに記録されます。	内蔵メモリ内の画像を再生しています。
［xD］	カードに記録されます。	カード内の画像を再生しています。

- 内蔵メモリとカードを同時に使用することはできません。
- カードが入っていると、内蔵メモリへ記録・再生はできません。内蔵メモリを使用するときは、カードを抜いてください。
- 内蔵メモリに記録された画像をカードにコピーすることができます。☞「内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）」（P.78）

カードについて

カードとは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
カードに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工したりすることができます。容量の大きなカードに交換すると記録できる枚数を増やすことができます。

① インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。

② 接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

使用できるカード

xD-ピクチャーカード（16MB～1GB）

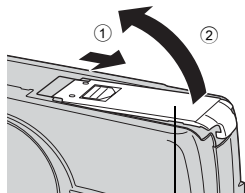
ご注意

- オリンパス製以外の市販のカードや、パソコンなどの他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。☞「カードを初期化する（カードフォーマット）」（P.81）
- フォーマットや削除をしてもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

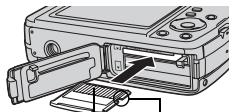
カードを入れる／取り出す

1　カメラの電源が入っていないことを確認します。

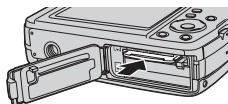
- 液晶モニタが消灯している。
- レンズが出ていない。

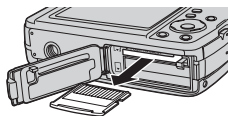
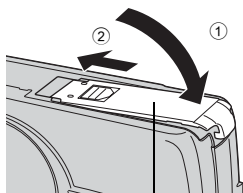
2　電池／カードカバーを開けます。

●カードを入れる

3　カードの向きを図のように正しく合わせて入れます。

- カードが斜めに入らないようにまっすぐに差し込みます。
- カードを奥まで差し込むとカチッという音がします。
- カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できなくなることがあります。

●カードを取り出す

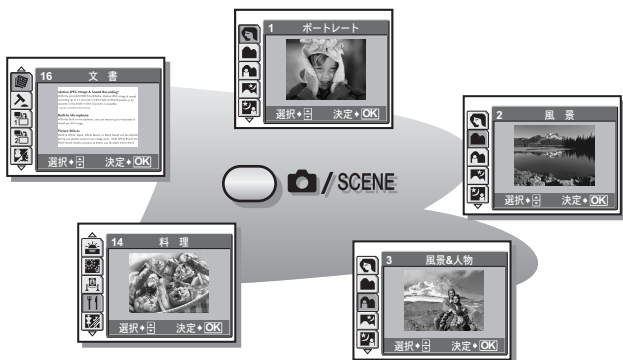
3 カードを一度奥に向かって押しこんで、そのままゆっくり戻します。

- カードが手前に出て止まります。

> **注意**
> カードを取り出す際にカードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

- カードをつまんで取り出します。

4 電池／カードカバーを閉じます。

3 基本的な撮影機能

カメラマンは被写体に合わせて、露出の調整やピントの合わせ方、フィルムの選択などを常に考慮した上でより最適な設定で撮影しています。

デジタルカメラで撮るあなたは難しい設定を覚える必要はありません。デジタルカメラには被写体にあわせた設定がすでに用意されています。風景、夜景、ポートレートなど、あなたが撮りたい！　と思うものに合わせた撮影シーンを選ぶだけで、最適な露出や色合いをカメラが設定してくれます。

さあ、あなたはシャッターボタンを押すだけです。

撮影したいものに合わせて設定する（/SCENE）

撮影モードで/SCENEボタンを押すたびに、通常の撮影モード（Pオート）とぶれ軽減、シーン選択画面（SCENEモード）が切り換わります。

●Pオート

通常の撮影に適しています。シャッターボタンを押すだけで、カメラが最適と判断した状態で撮影します。被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます（プログラムオート）。

● ぶれ軽減

撮影時の手ぶれや被写体のぶれによる画像の揺れを軽減します。
手ぶれが大きいときや被写体の動きによっては、手ぶれを軽減できないことがあります。ぶれ軽減はSCENEからも選択できます。

● SCENEの種類

撮影シーンに合わせた25種類のSCENEから選択します。
撮影シーンや撮影状況に合わせて選択すると、カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。

ポートレート

人物を撮影するのに最適です。肌の質感を強調します。

風景

風景を撮影するのに最適です。青・緑の色をきれいに再現します。

風景＆人物

風景を背景にした人物を撮影するのに最適です。青・緑・肌の色をきれいに再現します。

夜景*

夜景を撮影するのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。

夜景＆人物*

夜景を背景に人物を撮影するのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。

スポーツ

動きのある被写体を撮影するのに最適です。動いている被写体も止まっているように撮影します。

屋内撮影

パーティなどで人物を撮影するのに最適です。背景の雰囲気もきれいに再現されます。近距離撮影時は露出オーバーになることがあります。

キャンドル*

キャンドルライトをいかした雰囲気のある画像を撮影するのに最適です。温かみのある色が再現されます。
フラッシュは使用できません。

自分撮り

撮影者がカメラを持ち自分を撮影するのに最適です。

寝顔*

薄暗い場所でフラッシュを発光させない撮影に最適です。
フラッシュは使用できません。

夕日*

夕日を撮影するのに最適です。赤・黄の色を鮮やかに再現します。
フラッシュは使用できません。

打ち上げ花火*

夜空の花火を撮影するのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。
フラッシュは使用できません。

マナーショット

美術館や発表会などフラッシュが気になる場所での撮影に最適です。
フラッシュは使用できません。

料理

料理を撮影するのに最適です。料理の色合いをはっきりと再現します。

ガラス越し

ガラス越しの被写体を撮影するのに最適です。
フラッシュは使用できません。

文書

書類や時刻表を撮影するのに最適です。文字と背景の明暗をはっきりと再現します。
フラッシュは使用できません。

オークション

オークション用の写真撮影に最適です。適正サイズで露出を自動的に変えて3枚連続撮影します。
フラッシュは使用できません。

ショット&セレクト1／ショット&セレクト2

連続撮影します。撮影後に不要な画像は消去してから保存できます。動いているものの撮影に最適です。
ショット&セレクト1（）　最初の1コマでピントが固定されます。
ショット&セレクト2（）　1コマごとにピントを合わせて連写します。

ビーチ&スノー

晴天の海や雪山で撮影するのに最適です。空・緑・人物をきれいに再現します。

水中ワイド1／水中ワイド2

水中の景観を撮影するのに最適です。防水プロテクタを使用してください。
水中ワイド1（1）　1コマごとにピントを合わせて撮影します。ピントを合わせたいものにAFターゲットマークをあわせて▽を押すと、ピント位置を固定することができます（AFロック）。
水中ワイド2（2）　ピントが合う位置が約5.0mに固定されています。距離は水質によって変わる場合があります。

水中マクロ

水中での近距離撮影に最適です。防水プロテクタを使用してください。ピントを合わせたいものにAFターゲットマークをあわせて▽を押すと、ピント位置を固定することができます（AFロック）。

ぶれ軽減

撮影時の手ぶれや被写体のぶれによる画像の揺れを軽減します。
手ぶれが大きいときや被写体の動きによっては、手ぶれを軽減できないことがあります。

ムービー

ムービーを撮影します。

* 被写体が暗いときはノイズリダクションが自動的に働きます。そのときは撮影時間が通常の2倍になり、その間次の撮影はできません。

ヒント

- フラッシュが使用できないシーンやシャッター速度が遅くなるシーンを選択したときは、手ぶれがおきやすくなります。手ぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影シーンによって、その効果を出すために設定できる機能に制限があります。詳しくは、「撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能」（P.150）をご覧ください。

📷/SCENE

1 **📷/SCENE ボタンを繰り返し押して、シーン選択画面を表示します。**

3 基本的な撮影機能

2 △▽を押してシーンを選択し、(OK/MENU)を押します。

3 撮影します。

- ショット&セレクトの場合、シャッターボタンを押し続けます。

●［ショット&セレクト1］または［ショット&セレクト2］を選択した場合

- 撮影が終了すると､消去する画像を選択する画面が表示されます。

カーソルのある画像が拡大表示されます。

選択 決定 OK

選択した画像に✓マークが表示されます。

① ◁▷を押して消去する画像を選択し、△を押します。
消去する画像が複数ある場合は､手順①の操作を繰り返します。

② 消去する画像をすべて選択したら、(OK/MENU)を押します。

③［消去］を選択し、(OK/MENU)を押します。
- 選択した画像が消去され、残りの画像が保存されます。

被写体を大きく撮影する

ズームを使う

光学ズームとデジタルズームを使用して望遠の撮影ができます。光学ズームは、レンズの倍率を変えることによってCCDに拡大された像が写り、CCDの画素がすべて画像になります。デジタルズームは、CCDに写っている像の中心部分を切り出し、設定した画像サイズまで拡大します。小さいサイズを切り出して拡大するので、デジタルズームでの拡大率が大きくなるほど画像は粗くなります。

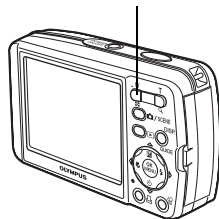
このカメラで可能なズームの倍率は以下のとおりです。

光学ズーム 3倍（35mmカメラ換算：35mm～105mm）
光学×デジタルズーム 最大約15倍

高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなりますのでご注意ください。

/SCENE

1 ズームボタンを押します。

ズームボタン

広角：
ズームボタンのW側を押す

望遠：
ズームボタンのT側を押す

デジタルズームを使う

/ SCENE

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［デジタルズーム］▶［オン］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

- ムービー撮影モードの場合：トップメニュー ▶［デジタルズーム］▶［オン］

1 ズームボタンのＴ側を押します。

光学ズーム

デジタルズーム

ズームバーの白い部分が光学ズームの領域です。デジタルズームが設定されると、ズームバーに赤い領域が表示されます。光学ズームで最大までズームアップすると、デジタルズームになります。

デジタルズームの領域に入るとカーソルがオレンジになります。

ご注意

- デジタルズームの領域で撮影すると、画像が粗くなることがあります。

マクロ／スーパーマクロを使う

近接した被写体（20～50cm）を撮影するときはマクロに設定します。

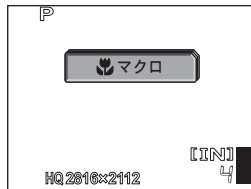
マクロ　被写体に20cmまで接近して撮影できます。
スーパーマクロ　被写体に約7cmまで接近して撮影できます。ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。

マクロ

スーパーマクロ

1 **◁を繰り返し押して、[マクロ] または [スーパーマクロ] に設定します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.12）

- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

2 **撮影します。**

ご注意

- スーパーマクロ撮影では、ズーム、フラッシュは使用できません。

フラッシュ撮影

撮影状況や目的に合わせてフラッシュの設定を選びます。

フラッシュの到達距離
広角時：約4.0m
望遠時：約2.5m

オート発光（表示なし）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

赤目軽減（◉）

暗い場所でフラッシュを使って人物を撮影するとき、目が赤く写る現象を軽減します。本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

目が赤く写ります

ご注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

強制発光（⚡）

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。

ご注意

- 非常に明るい状況下では、効果が現れにくくなることがあります。

発光禁止（⊘）

暗いところでも発光させたくないときに使用します。フラッシュを使用できない場所での撮影に使用します。フラッシュが届かない遠景・夕景を撮りたいときにも使用します。

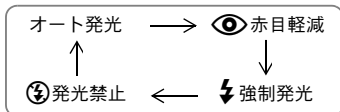
ご注意

- 暗いところの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

/ SCENE

1 ▷⚡を繰り返し押して、フラッシュモードを設定します

☞「ダイレクトボタン」(P.12)

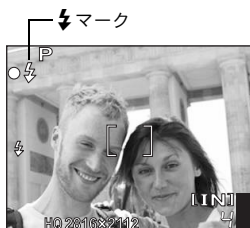
- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。
- ▷⚡を押すたびに、次の順でフラッシュモードが切り換わります。

2 シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する条件のときは、⚡マークが点灯します（フラッシュ発光予告）。

⚡マーク

3 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

3 基本的な撮影機能

ヒント

ϟ（フラッシュ充電）マークが点滅した

→ フラッシュ充電中です。ϟマークが消灯するまでお待ちください。

ご注意

- スーパーマクロ撮影、パノラマ撮影では、フラッシュは使用できません。
- マクロ撮影でズームがW（広角）側にあるときは、特に画面内で光の量がムラになることがあります。必ず再生して画像を確認してください。

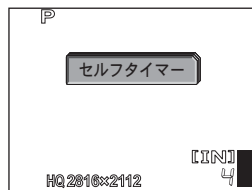
セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使って撮影します。カメラを三脚にしっかり固定して撮影してください。記念写真などを撮るときに便利です。

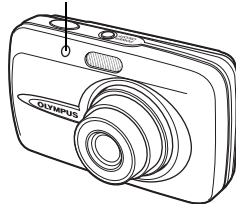
/ SCENE

1 ▽ を押して、［セルフタイマー］に設定します。

☞「ダイレクトボタン」（P.12）

- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

セルフタイマーランプ

- ピントと露出はシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。
- セルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- ムービー撮影の場合、再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了してください。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽を押します。
- セルフタイマーモードは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

ムービー撮影

ムービー（動画）を撮影します。

/SCENE

1 **/SCENE ボタンを繰り返し押して、シーン選択画面を表示します。**

2 **△▽を押してを選択し、を押します。**

3 **構図を決めます。**

- 撮影可能時間が液晶モニタに表示されます。

撮影可能時間

4 **シャッターボタンを全押しして撮影を始めます。**

- カードアクセスランプが点滅し、画像の記録が始まります。
- ムービー撮影中はマークが赤く点灯します。
- ズームボタンで被写体を拡大できます。

5 **もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。**

- 撮影可能時間が0になると、自動的に撮影を終了します。
- 内蔵メモリまたはカードに空き容量がある場合は、撮影可能時間（P.26）が表示され、次の撮影ができます。

ご注意

- 撮影中、被写体との距離が大きく変化するとピントが外れる場合があります。
- モードでは、フラッシュは使用できません。

いろいろな撮影機能

4

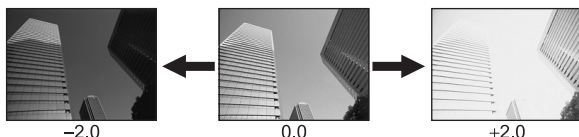
プロ並みの撮影…？
画像の明るさを変える、色合いを調整する、被写体によってピントを合わせる範囲を変えるなど、大満足の写真が撮れるはず。

仲間が集まったら…
同窓会、ホームパーティなどのイベントでもセルフタイマーを使えば全員で集合写真を撮ることができます。

大自然でも観光地でも…
美しい山並みや壮大な建築物をパノラマ撮影でワイドに撮ってみましょう。

画像の明るさを変える（露出補正）

撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。1/3EV刻みで±2.0EVの範囲で設定できます。露出を補正した結果は液晶モニタで確認できます。

/SCENE

1 △を押します。

2 △▽を押して調整し、OK/MENUを押します。

- プラス［+］で明るく、マイナス［−］で暗くなります。

3 撮影します。

ヒント

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、［+］に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に［−］に補正すると効果的です。

ご注意

- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。
- 撮るものの周囲が極端に明るいときや極端に暗いときは、露出補正で補正しきれないときがあります。

画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が異なります。ホワイトバランスを調整することにより、このような光源による微妙な色の違いを見たままの色に表現することができます。

オート	光源によらず、自然な色合いで写るよう自動的に調整します。
晴天（☼）	晴れた屋外で自然な色に写ります。
曇天（☁）	曇った屋外で自然な色に写ります。
電球（電球マーク）	電球の灯りで自然な色に写ります。
蛍光灯1（蛍光灯1マーク）	昼光色の蛍光灯の灯りで自然な色に写ります。昼光色の蛍光灯は、主に家庭で使われています。
蛍光灯2（蛍光灯2マーク）	昼白色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影に適しています。昼白色の蛍光灯は、デスク上のスタンドなどに一般的に使われています。
蛍光灯3（蛍光灯3マーク）	白色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影に適しています。白色の蛍光灯は、オフィスなどで一般的に使われています。

/ SCENE

トップメニュー ▶［ホワイトバランス］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ホワイトバランスを選択し、OK/MENU を押します。

ヒント

- 実際の光源とは異なるホワイトバランスを選択し、その設定を液晶モニタで確認すると、様々な色調が楽しめます。

ご注意

- 特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- ［オート］以外のホワイトバランスに設定して撮影した場合、画像を再生して色を確認してください。
- ［オート］以外のホワイトバランスに設定してフラッシュを発光した場合、液晶モニタで見た色と異なった色で撮影されることがあります。

明るさを測る範囲を変える（測光）

逆光で撮影すると、人物の顔などが暗く写ることがあります。この場合、スポットに変更すると、背景の光に影響されることなく、画面中央部の明るさに合わせて撮影できます。

ESP　画面の中央と周辺を個別に測光して画面全体でバランスのとれた撮影を行います。強い逆光では、中央が暗く撮影されることがあります。

スポット　画面中央のみを測光するので、逆光での中央の被写体を撮るのに適しています。

/ SCENE

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［測光］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1　**［ESP］または［スポット］を選択し、OK/MENUを押します。**

連続して撮影する（連写／高速連写）

シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します。

単写　一度シャッターを押すと、1コマだけ撮影されます。
連写　最初の1コマでピント、明るさ（露出）、ホワイトバランスが固定されます。記録する画質設定によって連写速度が異なります。
高速連写　通常の連写より高速で連写できます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ドライブ］▶［連写］／［高速連写］　☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 撮影します。

- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指をはなすと連写は止まります。

ご注意

- 高速連写では、フラッシュ、デジタルズームは使用できません。
- パノラマ撮影では、連写・高速連写はできません。
- 高速連写で撮影すると、画像サイズが［1600 × 1200］以下に制限されます。［1600 × 1200］を超える［画質モード］を設定して撮影しても、［1600 × 1200］で保存されます。
- 連写中、電池の消耗により が点滅すると、撮影を中止して記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- 高速連写で撮影する場合は、［ISO 感度］を［オート］に設定します。［ISO 感度］が［オート］以外に設定されていると、［高速連写］は選択できません。

ISO感度を変更する（ISO感度）

ISO感度は数値が大きいほど感度が高く、より暗いところ（光量が少ないところ）での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

オート	被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。
64/100/200/400/800/1600	感度を低くすると、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。感度が高くなるにつれて、速いシャッター速度で撮影ができます。

/SCENE

トップメニュー ▶［ISO感度］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ［オート］［64］［100］［200］［400］［800］［1600］からISO感度を選択し、OK/MENUを押します。

ご注意

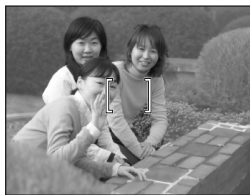
- ISO感度は銀塩写真のフィルムを基準に設定されていますが、数値は目安です。
- ISO感度を［800］［1600］に設定して撮影すると、画像サイズが［1600 × 1200］以下に制限されます。［1600 × 1200］を超える［画質モード］を設定して撮影しても、［1600 × 1200］で保存されます。
- ISO感度を［800］［1600］に設定して近距離撮影時にフラッシュを使用すると、露出オーバーになることがあります。
- ISO感度を［800］［1600］に設定したときは、デジタルズームは使用できません。

ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）

被写体の焦点を合わせる方式を選択します。

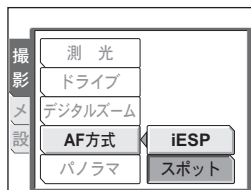
iESP　画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントは合います。

スポット　AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。

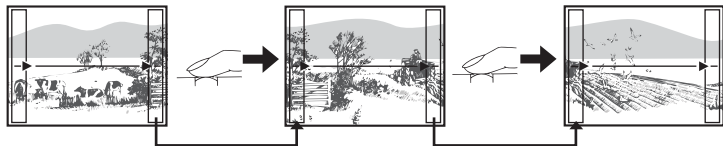
iESPに適した被写体

スポットに適した被写体

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［AF方式］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1　［iESP］または［スポット］を選択し、Ⓞを押します。

4 いろいろな撮影機能

パノラマ撮影

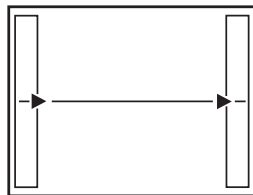
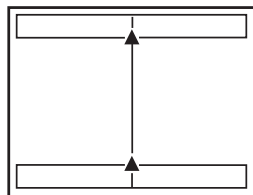
当社製のxD-ピクチャーカードを使うと、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像を、OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）でつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

端の枠に、前に撮影した画像の合わせるべき部分は残っていません。撮影時には、この枠の画像を覚えていて、次のコマの枠の画像と同じになるように撮影してください。前に撮影した画像の右端（左回りのときは左端）は、次の画像の左端（左回りのときは右端）と同じ画像が撮影できるように構図を設定して撮影してください。

📷 / SCENE

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [パノラマ]

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 十字ボタンでつなげる方向を指定します。

▷ ：次の画像を右につなげます。
◁ ：次の画像を左につなげます。
△ ：次の画像を上につなげます。
▽ ：次の画像を下につなげます。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

2 被写体の端が重なるように撮影します。

- ピント・露出・ホワイトバランスなどは、1枚目で決定されます。1枚目に太陽などの光の強い被写体を入れた撮影などをしないでください。
- 1枚目を撮影した後は、ズーム操作はできません。
- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。
- 10枚撮り終わると警告マークが表示されます。

3 パノラマ撮影を終了するには、OK/MENUを押します。

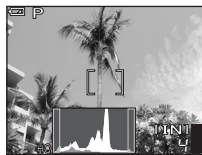
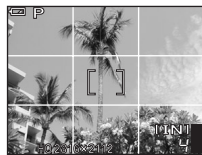
ご注意

- カードがカメラに入っていないときはパノラマ撮影できません。パノラマ合成機能付きのカード以外でパノラマ撮影はできません。
- パノラマ撮影中はフラッシュ、連写・高速連写は使用できません。
- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合は、OLYMPUS Masterをご使用ください。

液晶モニタの表示を切り換える（DISP.／GUIDE）

撮影時、構図の目安となる罫線やヒストグラムを表示します。

1 DISP.／GUIDEボタンを繰り返し押します。

- **DISP.／GUIDE**ボタンを押すたびに、以下の順で表示が切り換わります。
  ☞「ダイレクトボタン」（P.12）

? ヒント

- 表示を切り換えたときやメニューを操作したときなどに、液晶モニタに詳細情報が表示されます。液晶モニタに表示される情報の内容については、別冊の取扱説明書基本編「液晶モニタの表示」をご覧ください。

ヒストグラム表示

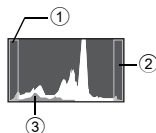
ヒストグラムの表示／非表示を設定します。被写体の明るさのコントラストを確認しながら撮影できるので、より厳密に露出をコントロールすることができます。

オフ　ヒストグラムを表示しません。
オン　常にヒストグラムを表示します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ヒストグラム表示］▶［オフ］／［オン］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

ヒント

ヒストグラム表示について

① 枠内に多く入ると、画像は黒くつぶれ気味に写ります。
② 枠内に多く入ると、画像は白くとび気味に写ります。
③ ヒストグラムの緑色の部分は、AFターゲットマーク内の輝度分布です。

ご注意

- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものと異なることがあります。

罫線表示

罫線の表示／非表示と罫線の種類を設定します。撮影の構図を決めるときの参考にしてください。

オフ　罫線を表示しません。
⊞　縦横に罫線を表示します。
⊠　対角線の罫線を表示します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［罫線表示］▶［オフ］／［⊞］／［⊠］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

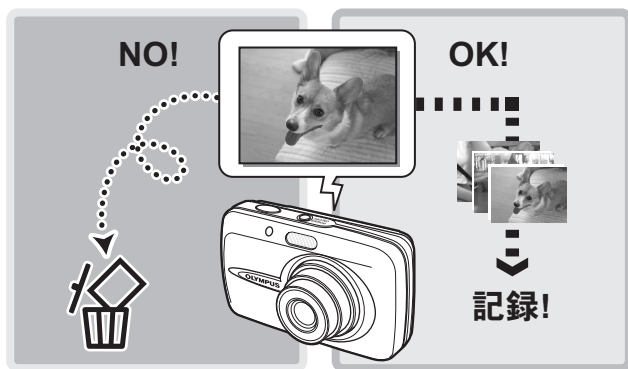
4 いろいろな撮影機能

5

再生

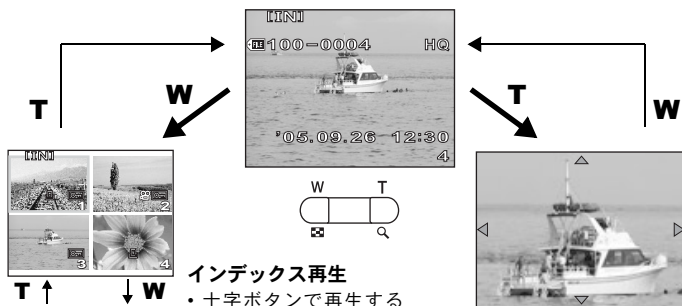
フィルムを使うカメラでは、撮影した写真は現像するまで見ることができません。できあがった写真を見て失敗作！とがっかりしたことはありませんか？　ボケた風景写真や目をつぶってしまった写真。ちゃんと撮れたか自信がなくて何度も同じような写真を撮ってしまったり。これでは、大切な思い出を安心して記録することができませんね。

デジタルカメラではどうでしょう。デジタルカメラなら撮影後すぐに再生できます。シャッターボタンを押したら、その場で撮った画像を確認しましょう。うまく撮れなかったら、その場で消してしまえばよいのです。さあ、失敗を恐れず、どんどんシャッターボタンを押しましょう！

静止画の再生

カードを入れているときは、カードの画像が再生されます。内蔵メモリの画像を再生するときは、カードを抜いてください。

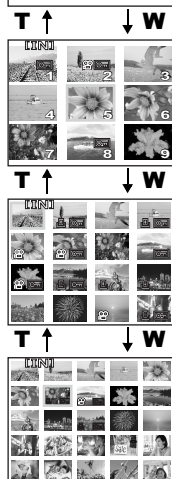
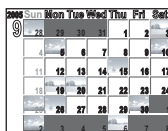
- 液晶モニタに最後に撮影した画像が表示されます（1コマ再生）。
- 十字ボタンで見たい画像を切り換えることができます。

1 **ズームボタンのT側またはW側を押します。**

- 画像を拡大して表示（クローズアップ再生）したり、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）したり、画像をカレンダー形式で表示（カレンダー再生）したりできます。

インデックス再生

- 十字ボタンで再生する画像を選択して㊋を押すと、1コマ再生に戻ります。
- ズームボタンの W 側を押して、インデックス分割数を4分割、9分割、16分割、25分割に変更することができます。

クローズアップ再生

- T 側を押すごとに 10 倍までクローズアップ再生されます。
- クローズアップ再生中に十字ボタンを押すと、その方向に画像がスクロールします。
- 拡大した状態で画像を保存することはできません。

W

カレンダー再生

- 25分割画面でズームボタンのW側を押すと、画像がカレンダー再生されます。
- 十字ボタンで画像のある日付を選択して㊋を押すか、ズームボタンのT側を押すと、1コマ再生に戻ります。

画像をカレンダー再生する（カレンダー）

撮影した画像をカレンダー形式で再生します。静止画やムービーを撮影すると、撮影した日付ごとにカメラが自動的に画像をカレンダーに登録します。
正しい日時でカレンダー再生するためには、撮影前にカメラで日時の設定をする必要があります。☞「日付・時刻を設定する（日時設定）」（P.88）

トップメニュー ▶［カレンダー］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

- カレンダーが1ヶ月表示されます。再生する画像を選択して㊙を押すと、1コマ再生されます。

画像を回転させる（回転表示）

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。反時計方向に90度、時計方向に90度の回転ができます。

回転再生する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［回転表示］▶
［+90°］／［0°］／［-90°］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［回転表示］▶［+90°］／［0°］／［-90°］

+90°　　0°　　-90°

ご注意

- 次の画像は回転再生できません。
  ムービー／プロテクトされた画像／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像
- 電源を切っても、画像が回転された状態は保持されます。

ムービーの再生

ムービーを再生します。早送りやコマ送り再生をすることができます。
再生するムービーを選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶ ［ムービープレイ］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

- ムービーが再生されます。再生が終了するとムービーの先頭に戻り、［ムービープレイ］画面が表示されます。

●ムービー再生中の操作

再生中に再生速度の変更ができます。

▷ ：押すたびに再生速度が1倍から2倍、20倍、1倍に変わります。
◁ ：逆再生します。押すたびに逆再生の速度が1倍から2倍、20倍、1倍に変わります。
OK/MENU ：一時停止します。

●一時停止中の操作

コマ送りができます。

△ ：先頭のコマを表示します。
▽ ：末尾のコマを表示します。
▷ ：次のコマを表示します。
◁ ：前のコマを表示します。
OK/MENU ：［ムービープレイ］画面が表示されます。

再生時間/録画時間

ご注意

- カードアクセスランプが点滅しているときは、画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがあります。カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。

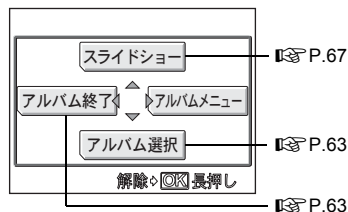
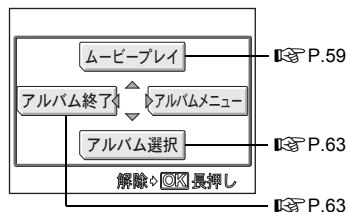
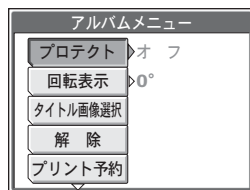
5 再生

アルバムの再生

カードに記録した画像をカード内のアルバムに分類して、整理することができます。内蔵メモリの画像はアルバムに登録できません。
アルバムは12個あり、各アルバムに200枚の画像を登録できます。また、付属のCD-ROMに収録されているOLYMPUS Masterを使って、パソコンから画像をカード内のアルバムに入れることもできます。

●アルバム再生モードのメニュー

通常の再生モードのトップメニューで◁を押して［アルバム］を選択すると、アルバム再生モードになります。アルバム再生モードで㊐を押すと、アルバム再生モードのトップメニューが表示されます。アルバム再生モードのメニューは、通常の撮影モード、再生モードのメニューと同様に十字ボタンと㊐を使って設定できます。
☞「メニュー」（P.14）

トップメニュー

アルバムメニュー

［アルバムメニュー］で設定できる機能

機能名	参照頁	機能名	参照頁
プロテクト	P.78	プリント予約	P.102
回転表示	P.58	モニタ調整	P.88
タイトル画像選択	P.64	ビデオ出力	P.77
解除	P.64		

撮影した画像をアルバムに入れる（アルバム登録）

撮影した静止画やムービーをアルバムに登録します。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [再生] ▶ [アルバム登録]

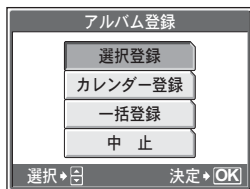
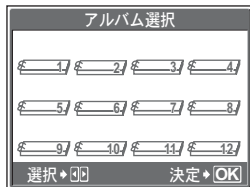
☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 アルバムの登録方法を選択します。

選択登録 1コマずつ画像を選択し、登録します。

カレンダー登録 カレンダー再生画面で日付を選択し、同じ日付の画像を一つのアルバムに登録します。

一括登録 静止画のみ、または動画のみ、プロテクト画像のみを選択し、一つのアルバムに登録します。

アルバム登録
選択登録
カレンダー登録
一括登録
中　止
選択 決定 OK

2 ◁▷を押して登録したいアルバムを選択し、OKを押します。

● 選択登録

3 △▽◁▷ を押して登録したい画像を選択し、OKを押します。

- 選択した画像に✓が表示されます。
- 再度OKを押すと、選択は解除されます。
- 登録する画像が複数ある場合は、手順3を繰り返します。
- ズームボタンのT側を押すと、1コマ再生で画像を表示できます。

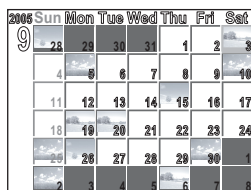
4 登録する画像をすべて選択したら、OKを長押しします。

5 ［実行］を選択し、OKを押します。

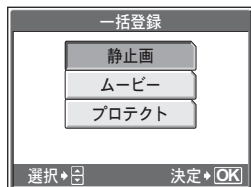
5 再生

●カレンダー登録

3 **△▽◁▷を押して登録したい画像のある日付を選択し、OK/MENUを押します。**

4 **［実行］を選択し、OK/MENUを押します。**

●一括登録

3 **［静止画］［ムービー］［プロテクト］から選択し、OK/MENUを押します。**

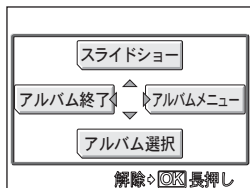
4 **［実行］を選択し、OK/MENUを押します。**

ご注意

- 同じ画像を複数のアルバムに登録することはできません。

アルバムの画像を見る（アルバム選択）

トップメニュー ▶［アルバム］ ☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 (OK/MENU)を押します。

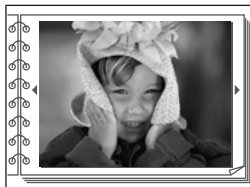
- アルバム再生モードのトップメニューが表示されます。

2 ［アルバム選択］を選択します。

3 ◁▷ を押して表示したいアルバムを選択し、(OK/MENU)を押します。

- 各アルバムのタイトル画像が表示されます。

4 十字ボタンで、見たい画像を表示します。

▷ ：次の画像を表示
◁ ：1コマ前の画像を表示
△ ：10コマ前の画像を表示
▽ ：10コマ先の画像を表示

- 静止画再生時は、ズームボタンのT側を押すとクローズアップ再生することができます。クローズアップ再生中、十字ボタンでスクロールすることができます。

5 アルバム再生を終了する場合は、(OK/MENU)を押してトップメニューを表示し、［アルバム終了］を選択します。

ヒント

- 他のアルバムの画像を表示する場合は、トップメニューから［アルバム選択］を選び、切り換えたいアルバムを選択します。
- アルバム再生中に▶ボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

アルバムの表紙を選ぶ（タイトル画像選択）

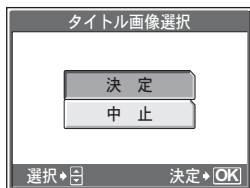
［アルバム選択］画面に表示されるタイトル画像（アルバム内のコマ番号1の画像）を変えることができます。
変更するアルバムを選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［タイトル画像選択］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ◁▷を押してタイトルにする画像を選択し、Ⓞを押します。

2 ［決定］を選択し、Ⓞを押します。

- アルバムのタイトル画像が変更されます。

アルバム登録を解除する（解除）

アルバムに登録されている画像を解除します。アルバムに登録した画像を解除するだけで、カードには画像が保存されています。
解除する画像のあるアルバムを選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［解除］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 アルバムの解除方法を選択し、Ⓞを押します。

選択解除	1コマずつ画像を選択し、解除します。
全コマ解除	アルバム内の全画像を解除します。

●選択解除

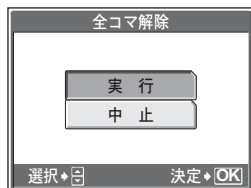
2 △▽◁▷を押して解除したい画像を選択し、OK/MENUを押します。

- 選択した画像に✓が表示されます。
- 再度 OK/MENU を押すと、選択は解除されます。
- 解除する画像が複数ある場合は、手順2を繰り返します。
- ズームボタンのT側を押すと、1コマ再生で画像を表示できます。

3 解除する画像をすべて選択したら、OK/MENUを長押しします。

4 ［実行］を選択し、OK/MENUを押します。

●全コマ解除

2 ［実行］を選択し、OK/MENUを押します。

アルバムから画像を消去する（1コマ消去）

アルバムに登録されている画像を消去します。アルバム画像の解除と異なり、カード内の画像が消去されます。
アルバム登録した画像を表示して操作します。

ご注意

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。☞「画像を保護する（プロテクト）」（P.78）
- 消去された画像は元に戻せません。アルバム登録を解除するだけの場合は［解除］を行ってください。☞「アルバム登録を解除する（解除）」（P.64）

1 消去する画像を表示し、🗑ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタン」（P.12）

2 ［消去］を選択し、OK/MENUを押します。

スライドショー

内蔵メモリまたはカードに記録されている静止画像を1枚ずつ自動的に再生します。画像が切り換わる際の効果を4種類から選択することができます。ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。

標準　画像を1コマずつ再生します。
フェード　次の画像が徐々に浮かび上がって表示されます。
スライド　次の画像が画面の上下にスライドして表示されます。
ズーム　次の画像が画面左上から徐々に広がって表示されます。

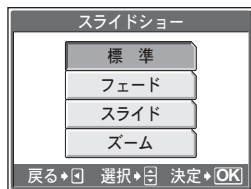
通常の再生モードまたはアルバム再生モードで静止画を選択して操作します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［スライドショー］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［スライドショー］

1　スライドショーの種類を［標準］［フェード］［スライド］［ズーム］から選択し、OK/MENUを押します。

- スライドショーがスタートします。
- OK/MENU を押すまでスライドショーが繰り返されます。

ご注意

- 長時間スライドショーを行う場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。30分経過するとスリープモード（待機状態）になり、自動的にスライドショーが終了します。

静止画の編集（リサイズ／赤目補正／モノクロ作成／セピア作成）

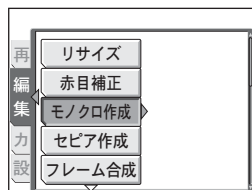
撮影してカードに記録した静止画を編集し、別の画像として保存します。以下の編集を行うことができます。

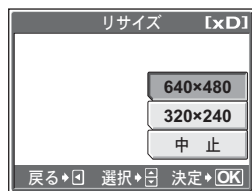
リサイズ	画像サイズを640 × 480または320 × 240に変更し、別の画像として保存します。
赤目補正	人物をフラッシュ撮影すると目が赤く写ることがありますが、これを補正して、別の画像として保存します。
モノクロ作成	白黒の別の画像として保存します。
セピア作成	セピア色の別の画像として保存します。

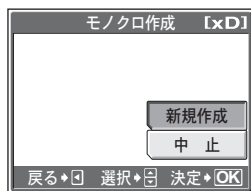
編集する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［編集］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 **［リサイズ］［赤目補正］［モノクロ作成］［セピア作成］から選択し、▷を押します。**

2 **●［リサイズ］を選択した場合**

［640 × 480］［320 × 240］から選択し、Ⓞを押します。

●［赤目補正］［モノクロ作成］［セピア作成］を選択した場合

［新規作成］を選択し、OK/MENUを押します。

［モノクロ作成］の場合

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

ご注意

- 次の場合は［リサイズ］［赤目補正］［モノクロ作成］［セピア作成］はできません。
  カードの空き容量が不足している／ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像／内蔵メモリの画像
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。また、目以外の部分が補正されることがあります。

画像の合成

撮影してカードに記録した静止画をカメラに用意されているフレームやタイトル、カレンダーと合成して別の画像として保存します。以下の画像合成を行うことができます。

フレーム合成　フレームを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。
タイトル合成　タイトルを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。
カレンダー合成　カレンダーを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

フレーム合成

トップメニュー ▶ ［編集］ ▶ ［フレーム合成］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

2 ◁▷ でフレームを選択し、Ⓞを押します。

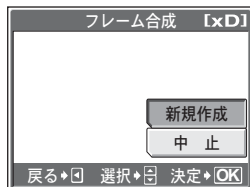
3 ◁▷ で合成する画像を選択し、Ⓞを押します。

- △▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

4 画像の位置と大きさを調整し、Ⓞを押します。

△▽◁▷	画像の位置を調整します。
ズームボタン	画像の大きさを調整します。

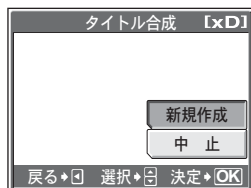
複数の画像を合成できるフレームの場合は、手順3、4を繰り返します。

5 ［決定］を選択し、OK/MENUを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

タイトル合成

トップメニュー ▶［編集］▶［タイトル合成］

「メニューの操作方法」（P.17）

1 ［新規作成］を選択し、OK/MENUを押します。

2 ◁▷で画像を選択し、OK/MENUを押します。

3 ◁▷でタイトルを選択し、OK/MENUを押します。

- △▽を押してタイトルを時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

4 タイトルの位置と大きさを調整し、OK/MENUを押します。

△▽◁▷	タイトルの位置を調整します。
ズームボタン	タイトルの大きさを調整します。

5 **△▽◁▷でタイトルの色を設定し、OK/MENUを押します。**

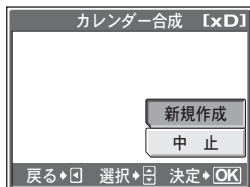
6 **［決定］を選択し、OK/MENUを押します。**

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

カレンダー合成

トップメニュー ▶［編集］▶［カレンダー合成］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 **［新規作成］を選択し、OK/MENUを押します。**

2 **◁▷で画像を選択し、OK/MENUを押します。**

3 **◁▷でカレンダーを選択し、OK/MENUを押します。**

- △▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

4 カレンダーの日付を設定し、㊙を押します。

△▽　「年」「月」を変更します。
◁▷　項目を移動します。

5 ［決定］を選択し、㊙を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

ご注意

- 次の場合は［フレーム合成］［タイトル合成］［カレンダー合成］はできません。
  カードの空き容量が不足している／ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像／内蔵メモリの画像

ヒント

- フレームやタイトルは、OLYMPUS Masterを使って変更することができます。詳しくは、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

画像の調整（明るさ調整／鮮やかさ調整）

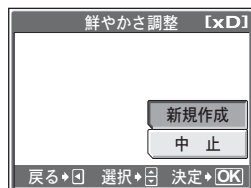
撮影してカードに記録した静止画を調整して別の画像として保存します。以下の調整を行うことができます。

明るさ調整　画像の明るさを調整して、別の画像として保存します。
鮮やかさ調整　画像の色の濃さを調整して、別の画像として保存します。

調整する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［編集］▶［明るさ調整］／［鮮やかさ調整］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ［新規作成］を選択し、OK を押します。

［鮮やかさ調整］の場合

2 △▽ で明るさ、鮮やかさを調整し、OK を押します。

3 ［決定］を選択し、OK を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

［鮮やかさ調整］の場合

ご注意

- 次の場合は［明るさ調整］［鮮やかさ調整］はできません。
  カードの空き容量が不足している／ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像／内蔵メモリの画像

5 再生

ムービーからインデックス画像を作る（インデックス作成）

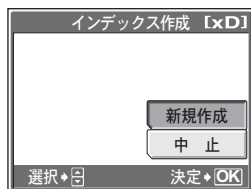
撮影してカードに記録したムービーの内容が一目でわかるようにムービーを9分割して画面に表示し、1つの画像として保存（インデックス作成）します。

編集するムービーを選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［インデックス作成］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

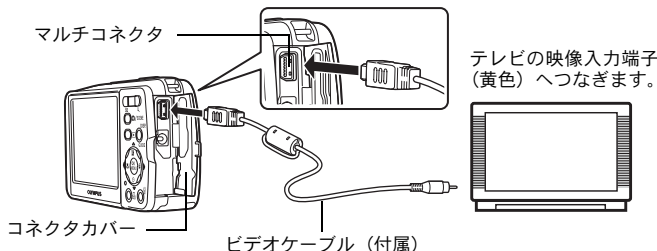
1 ［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、ムービーから抜き出された9 コマの画像がインデックス表示された後、再生モードに戻ります。作成された画像は新規の画像として保存されます。

ご注意

- ムービーの記録時間により、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。
- 内蔵メモリのムービーは［インデックス作成］をすることはできません。
- カードの空き容量が不足しているときは作成することはできません。

テレビで再生する

付属のビデオケーブルでテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

1 カメラとテレビの電源を切り、付属のビデオケーブルでカメラのマルチコネクタとテレビのビデオ入力端子を接続します。

2 テレビの電源を入れてビデオ入力に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 ▶ボタンを押して、カメラの電源を入れます。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。
- カメラの液晶モニタは点灯しません。

ヒント

- クローズアップ再生、インデックス再生、スライドショー等の再生機能が可能です。
- テレビで再生する場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。

ご注意

- カメラのビデオ信号が、お使いのテレビの映像信号に合っていることを確認してください。☞「ビデオ出力」（P.77）
- テレビとの接続には必ず付属のビデオケーブルをご使用ください。
- テレビにより画像が画面中央からずれることがあります。

ビデオ出力

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。［ビデオ出力］はビデオケーブルを接続する前に選択してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ビデオ出力］▶［NTSC］／［PAL］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合:トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［ビデオ出力］▶［NTSC］／［PAL］

ヒント

主な国と地域のテレビ映像信号
カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。
NTSC　日本、北米、台湾、韓国
PAL　ヨーロッパ諸国、中国

画像を保護する（プロテクト）

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。プロテクトされた画像は1コマ消去／全コマ消去で消去できませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。

プロテクトを設定する画像を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [再生] ▶ [プロテクト] ▶ [オン] ／ [オフ]

☞「メニューの操作方法」（P.17）

- プロテクトを解除するには、プロテクトが設定された画像を選択し、[オフ] を選択します。

プロテクトすると表示されます。

内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）

内蔵メモリに記録したすべての画像データをカードにコピー（バックアップ）します。バックアップをしても内蔵メモリ内の画像は消去されません。

バックアップ機能を使用するには、別売のカードが必要です。カードをカメラに入れてから操作してください。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [カード] ▶ [バックアップ]

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 [バックアップ] を選択し、OKを押します。

- 内蔵メモリのすべての画像データがカードにコピーされます。

ご注意

- カード残量が不足しているときは［カード残量がありません］と表示され、バックアップは行われません。
- ▭ マークが点滅しているときは、電池の残量が不足しているため、バックアップはできません。
- バックアップ中に電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。
- バックアップ中は絶対に電池／カードカバーを開けたり、電池を取り外したりしないでください。また、ACアダプタの抜き差しをしないでください。内蔵メモリまたはカードが正常に動作しなくなるおそれがあります。

画像を消去する

撮影した画像を消去します。再生している1コマのみを消去する1コマ消去と内蔵メモリまたはカード内のすべての画像を消去する全コマ消去があります。

ご注意

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像を保護する（プロテクト）」（P.78）
- アルバムに登録されている画像を消去すると、アルバムからも消去されます。

1コマ消去

1 消去する画像を表示し、ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタン」（P.12）

2 ［消去］を選択し、OKを押します。

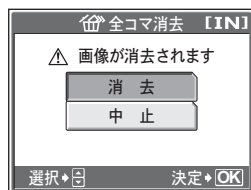
- 表示している画像が消去されます。

全コマ消去

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［メモリ（カード）］▶［全コマ消去］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1　［消去］を選択し、OK/MENUを押します。

- すべての画像が消去されます。

カードを初期化する（カードフォーマット）

カードをフォーマットします。フォーマットとは、カードをこのカメラで書き込みできるように初期化することです。

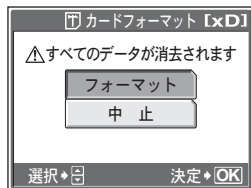
- 当社製以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使用する場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

フォーマットするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードをフォーマットするときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カード］▶［カードフォーマット］

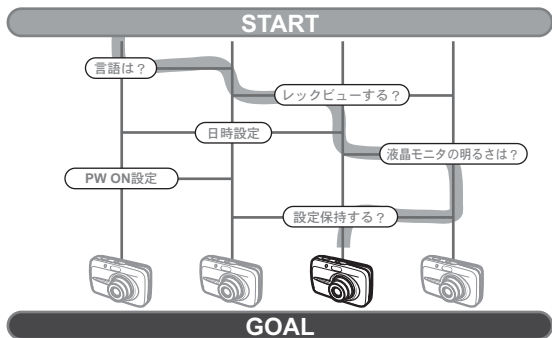
☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ［フォーマット］を選択し、OK/MENUを押します。

- 画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。

ご注意

- フォーマット中は絶対に次のことをしないでください。カードが使用できなくなるおそれがあります。
  コネクタカバーを開ける／電池/カードカバーを開ける／ACアダプタの抜き差しをする（カメラに電池が入っている、いないにかかわらず絶対にしないでください。）

6 設定

撮ってすぐ見る、これがデジタルカメラの大きな特徴であり、便利なところです。
でも、デジタルカメラの便利さはそれだけではありません。
たとえば、電源を入れると自分が撮影した画像が起動画面として表示される…。オリジナル感いっぱいです。
海外の友人が使うときは、言語を切り換えてあげてください。
これらの機能を活用するかどうかで、ぐーんと使い勝手が違ってくるはず。ぜひ試してみてください。

外見は同じでも“あなただけのカメラ”が完成！

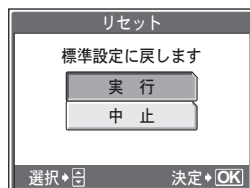
変更した設定を初期値に戻す（リセット）

このカメラは電源を切った後も変更した設定を保持しています（SCENEと(手ぶれ)をのぞく）。[リセット] を設定すると、変更した撮影機能の設定（モードメニューの［設定］タブ機能をのぞく）が初期設定に戻ります。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [リセット]

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ［実行］を選択し、OK/MENUを押します。

- 初期設定に戻ります。

●［リセット］で設定が初期設定に戻る機能とその設定

機能名	初期設定	参照頁	機能名	初期設定	参照頁
露出補正	0.0	P.46	ホワイトバランス	オート	P.47
フラッシュ	オート発光	P.41	測光	ESP	P.48
マクロ	マクロ　オフ	P.40	ドライブ	単写	P.49
セルフタイマー	セルフタイマーオフ	P.43	デジタルズーム	オフ	P.39
ISO感度	オート	P.50	AF方式	スポット	P.51
画質モード	HQ	P.24			

表示する言語を切り換える

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [ ]

☞「メニューの操作方法」(P.17)

1 表示したい言語を選択し、 を押します。

ヒント

表示する言語を増やしたい

→ OLYMPUS Masterを使って、表示する言語を増やすことができます。詳しくはOLYMPUS Masterのヘルプをご覧ください。

6 設定

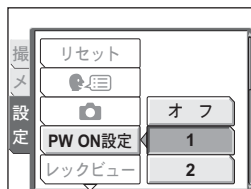
起動画面を変える（PW ON 設定）

電源を入れたときに表示される画面を設定します。自分で画面を登録して設定することもできます。☞「起動画面を登録する（画面登録）」(P.85)

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [PW ON 設定]

☞「メニューの操作方法」(P.17)

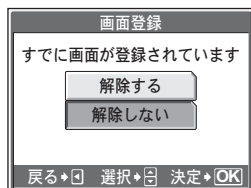
1 ［オフ］［1］［2］から選択し、㊙を押します。

オフ 画面表示なし
1 画面表示あり
2 ［画面登録］した画像。登録されていないと、何も表示されません。

2 ㊙を押します。

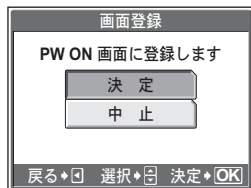
起動画面を登録する（画面登録）

電源を入れたときに表示される画面を登録します。内蔵メモリまたはカードに保存されている静止画を登録します。登録した画面を表示するときは［PW ON 設定］を行います。☞「起動画面を変える（PW ON 設定）」（P.84）

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［画面登録］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

- すでに画像が登録されている場合は、登録済みの画像を解除して新たに画像を登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。画面を登録する場合は［解除する］を選択し、㊙を押します。［解除しない］を選ぶとメニューに戻ります。

1 登録する画像を選択し、㊙を押します。

2 ［決定］を選択し、㊙を押します。

- 画面登録され、メニューに戻ります。

撮影後すぐに画像を確認する（レックビュー）

撮影した直後に画像を液晶モニタに表示するかどうか設定します。

オン　撮影した画像を記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。レックビュー中でもすぐに次の撮影に入れます。
オフ　記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［レックビュー］▶［オン］／［オフ］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

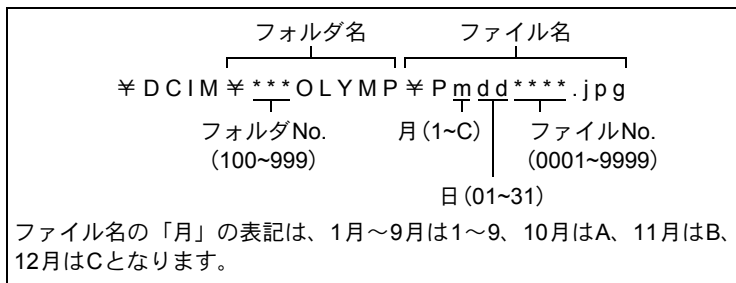
ファイル名をリセットする（ファイル名メモリー）

記録される画像には、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイル№（0001~9999）、フォルダ№（100~999）を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　ファイル名

￥DCIM￥***OLYMP￥Pmdd****.jpg

フォルダNo.（100~999）
月（1~C）
日（01~31）
ファイルNo.（0001~9999）

ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

フォルダ№とファイル№の付け方は、［リセット］［オート］の2種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

リセット　カードを入れ換えたときにフォルダ№、ファイル№が両方ともリセットされます。フォルダ№は「№100」に、ファイル№は「№0001」に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。
オート　カードを入れ換えても、フォルダ№、ファイル№とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。

⬭ 📷/SCENE

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ファイル名メモリー］▶［リセット］／［オート］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

ご注意

- ファイルNo.が9999を超えるとファイルNo.は0001に戻り、フォルダNo.が変わります。
- 最大のフォルダNo.999、ファイルNo.9999に達すると、カードに残量があっても撮影可能枚数が0になり撮影できません。新しいカードに取り換えてください。

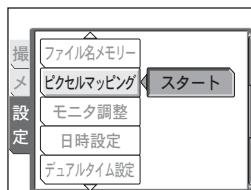
画像処理機能を調整する（ピクセルマッピング）

CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。

⬭ 📷/SCENE

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ピクセルマッピング］
☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 ▷を押して［スタート］が表示されたら、Ⓞを押します。

- ピクセルマッピング実行中のバーが表示されます。終了するとモードメニューに戻ります。

ご注意

- 処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

6 設定

液晶モニタの明るさを調整する（モニタ調整）

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［モニタ調整］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［モニタ調整］

1 液晶モニタを見ながら明るさを調整し、設定が決まったら ⓄⓀ を押します。

- △ を押すと明るくなり、▽ を押すと暗くなります。

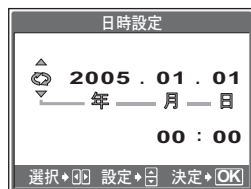
日付・時刻を設定する（日時設定）

日付・時刻を設定します。日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［日時設定］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

1 日付の順序を、［年-月-日］、［月-日-年］、［日-月-年］から選択し、▷ を押します。

- ［年］の設定に移動します。
- 以下の画面は［年-月-日］に設定した場合です。

2 **△▽を押して［年］を設定し、▷で次の項にすすみます。**

- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- ［年］の上 2 桁は固定されています。

3 **同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。**

- カメラの時間表示は24時間表示です。
  午後2時は14:00と表示されます。

4 **OK/MENUを押します。**

- 0秒の時報に合わせてOK/MENUを押すと、正確に時間を合わせられます。

ご注意

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には、日時の設定が正しいことを確認してください。

時差をつけて日時設定をする（デュアルタイム設定）

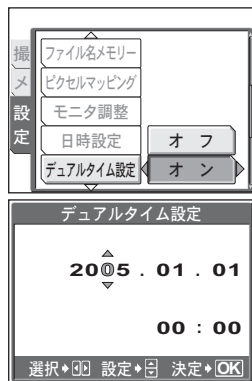
［日時設定］で設定した日付・時刻とは別に、時差をつけた日付・時刻（デュアルタイム）を設定します。設定後、［日時設定］で設定した時刻と切り換えて使用することができます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［デュアルタイム設定］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

6 設定

●デュアルタイムを設定する

1 **［オン］を選択し、▷を押します。**

2 **△▽を押して［年］を設定し、▷で次の項にすすみます。**

- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- ［年］の上 2 桁は固定されています。
- 日付の順序は、［日時設定］の手順 1 で設定した順序になります。

3 **同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。**

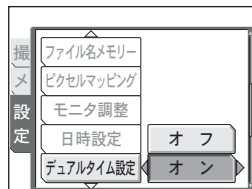
- カメラの時間表示は24時間表示です。午後2時は14:00と表示されます。

4 **OK/MENUを押します。**

- 0秒の時報に合わせてOK/MENUを押すと、正確に時間を合わせられます。
- デュアルタイムに切り換わります。

●日付・時刻を切り換える

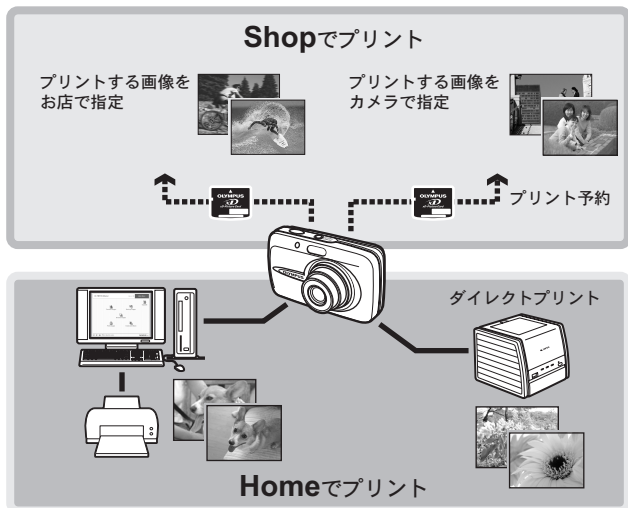
1 **［オフ］または［オン］を選択し、OK/MENUを押します。**

オフ　［日時設定］で設定した日時に切り換える
オン　［デュアルタイム設定］で設定した日時に切り換える

? ヒント

- ［デュアルタイム設定］の日時は、［日時設定］で日時を変更しても変動しません。
- 設定した［デュアルタイム設定］の日時は、［デュアルタイム設定］を［オフ］にしても保持されます。

プリント

7

撮影した画像をプリントしましょう。
お店でプリントする方法と、自分でプリンタを使ってプリントする方法があります。
お店でプリントする時は、カードにプリント予約をしておくと便利です。プリント予約は、あらかじめプリントする画像や枚数をカードに設定しておく方法です。
自分でプリントする時は、デジタルカメラを専用プリンタに直接接続して印刷する方法（ダイレクトプリント）と、パソコンに取り込んでパソコンに接続されたプリンタで印刷する方法があります。

ダイレクトプリント（PictBridge）

ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。
［かんたんプリント］の機能を使うと、ボタンを一回押すだけで液晶モニタで表示している画像を1枚プリントすることができます。☞「かんたんプリント」（P.93）
［カスタムプリント］の機能を使うと、プリント枚数や用紙などを設定してプリントすることができます。☞「カスタムプリント」（P.95）
また、プリント予約の設定内容を使ってプリントすることもできます。
☞「プリント予約（DPOF）」（P.102）
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは…異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定とは…PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.96～100）で［凸標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

? ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

! ご注意

- 電源にはACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、残量が充分にあることを確認してください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- ムービーはプリントできません。
- USB ケーブルでプリンタと接続しているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。

プリントモードや各設定の内容について

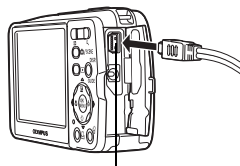
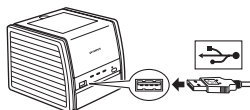
使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

かんたんプリント

［かんたんプリント］の機能を使って、液晶モニタで表示している画像を1枚プリントします。

1 プリントしたい画像を液晶モニタに表示します。

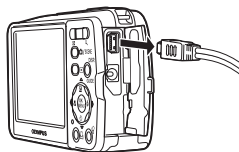
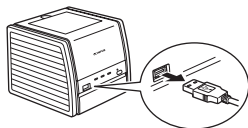
2 プリンタの電源を入れてカメラに付属のUSBケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

- かんたんプリント開始の画面が表示されます。
- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

3 凸ボタンを押します。

- プリントが開始されます。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは、◁▷を押して画像を選択し、凸ボタンを押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

7 プリント

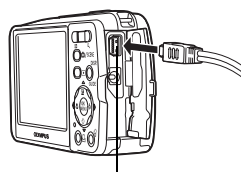
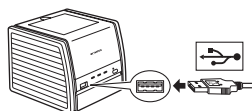
4 カメラからUSBケーブルを抜きます。

5 プリンタからUSBケーブルを抜きます。

ヒント

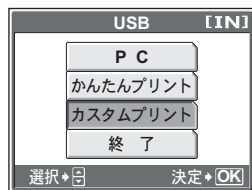
- 電源オフの状態または撮影モードでも［かんたんプリント］をすることができます。電源オフの状態または撮影モードでUSBケーブルを接続すると、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されますので［かんたんプリント］を選択します。☞「カスタムプリント」手順2（P.95）、「かんたんプリント」手順3（P.93）

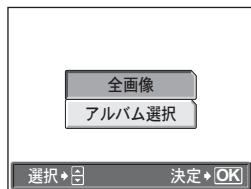
カスタムプリント

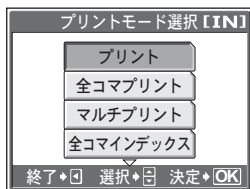
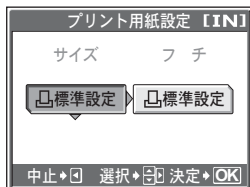
付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。
[カスタムプリント]の最も基本的な操作手順で1枚プリントしてみましょう。選択した画像が1枚、お使いのプリンタの標準設定でプリントされます。日付やファイル名はプリントされません。

1 プリンタの電源を入れてカメラに付属のUSBケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。
- プリンタの電源の入れ方および USB 端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

2 ［カスタムプリント］を選択し、OK を押します。

- ［しばらくお待ちください］と表示されたあと、カメラとプリンタが接続され、カメラの液晶モニタに［プリントモード選択］画面が表示されます。プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。
- ［かんたんプリント］を選択して OK を押すと、画像選択の画面が表示されます。☞「かんたんプリント」手順3（P.93）

●プリント対象を選択する

カードを入れているときは、プリント対象を選択する画面が表示されます。
［全画像］または［アルバム選択］を選択し、OK を押します。
［アルバム選択］を選択した場合はアルバムを選択し、OK を押します。

3 ［プリント］を選択し、OK/MENUを押します。

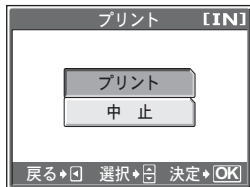
- ［プリント用紙設定］画面が表示されます。
- ［プリント用紙設定］画面が表示されないときは、手順5に進みます。

4 サイズ、フチの設定は何も変更せずに、OK/MENUを押します。

5 ◁▷を押してプリントする画像を選択し、△を押します。

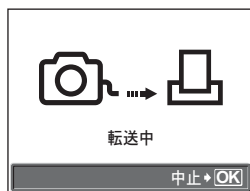
- ［1枚予約］が設定されます。

6 OK/MENUを押します。

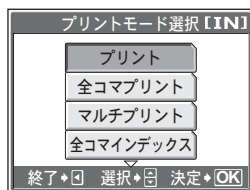
- ［プリント］画面が表示されます。

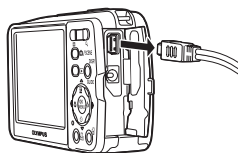
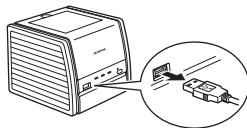
7 ［プリント］を選択し、OK/MENUを押します。

- プリントが開始されます。
- プリントが終了すると［プリントモード選択］画面が表示されます。

●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中にOK/MENUを押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、［中止］を選択し、OK/MENUを押します。

データ転送中の画面

8 ［プリントモード選択］画面で、◁を押します。

- メッセージが表示されます。

9 カメラからUSBケーブルを抜きます。

- カメラの電源が切れます。

10 プリンタからUSBケーブルを抜きます。

その他のプリントモードとプリント設定

基本的なプリント方法以外に、さまざまなプリントモードがあります。また同一のプリントモードでも用紙サイズやフチの有無を設定することもできます。
以下の画面が表示されたら操作ガイドにしたがって操作してください。

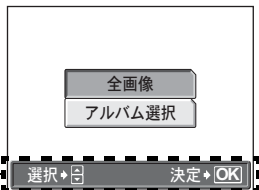
プリント対象を選ぶ（カード使用時のみ）

全画像　カード内の全画像からプリントする画像を選択します。

アルバム選択　アルバムを選択してその中からプリントする画像を選びます。

操作ガイド

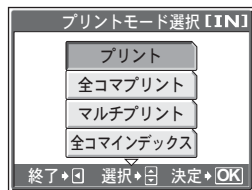
プリントモードを選ぶ

プリントモード選択［IN］
プリント
全コマプリント
マルチプリント
全コマインデックス
終了　選択　決定 OK

プリント　選択した画像をプリントします。

全コマプリント　内蔵メモリまたはカードの中の全画像をプリントします。

マルチプリント　1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。

全コマインデックス　内蔵メモリまたはカードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。

予約プリント　プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像が無いときは、選択できません。
☞「プリント予約（DPOF）」（P.102）

プリント用紙を設定する

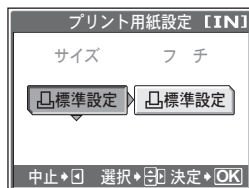
プリントする用紙サイズとフチの設定は、［プリント用紙設定］画面で設定します。

サイズ　お使いのプリンタで使用できる用紙サイズから選択できます。

フチ　フチの有無を選択できます。マルチプリントモードの場合、フチの選択はありません。

　有り（▭）　用紙の周辺に余白をつけてプリントします。

　無し（□）　用紙いっぱいにプリントします。

分割数　マルチプリントモードの場合のみ選択できます。分割数はお使いのプリンタの種類によって異なります。

ご注意

- ［プリント用紙設定］画面が表示されない場合、［用紙サイズ］と［フチ］、または［分割数］の設定は標準設定になります。

プリントする画像を選ぶ

◁▷を押してプリントする画像を選択します。ズームボタンを押してインデックス表示して選択することもできます。

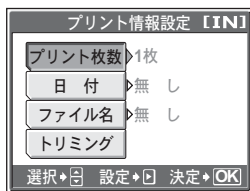
プリント　表示している画像が1枚プリントされます。

1枚予約　表示している画像をプリント予約します。

詳細予約　表示している画像のプリント枚数やプリントする情報を設定します。

7 プリント

プリント枚数とプリントする情報を設定する ［詳細予約］

プリント枚数	プリント枚数を設定します。枚数は10枚まで設定できます。
日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。
トリミング	画像の一部を拡大してプリントします。

トリミングを設定する ［トリミング］

△▽◁▷を押してトリミングする位置を移動します。
ズームボタンのW側またはT側を押して、トリミングサイズを決めます。

ご注意

- プリントされる画像の大きさは、プリンタの設定によります。トリミングの範囲が小さいと、プリントするときの拡大率が大きくなるため、プリント画像は粗くなります。
- 詳細な拡大プリントを行う場合は、SHQ、HQの画質モードでの撮影をおすすめします。

エラーメッセージが表示されたときは

ダイレクトプリント設定中およびプリント中にカメラの液晶モニタにエラーメッセージが表示されたときは、以下のように対応してください。
対処方法については、お使いのプリンタの取扱説明書もご覧ください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
接続されていません	カメラがプリンタに正しく接続されていません。	カメラとプリンタを正しく接続し直してください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした場合です。	プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。
この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

ヒント

- その他のエラーメッセージが表示されたときは、「エラーメッセージ」（P.124）をご確認ください。

プリント予約（DPOF）

プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。

プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。あらかじめ画像が記録されているカードをカメラに入れてください。

プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定を記録します。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする

予約されている内容に従ってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

内蔵メモリの画像をプリントショップでプリントすることはできません。カードにコピーしてプリントショップへお持ちください。

☞「内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）」（P.78）

プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
ファイル番号は、画像を再生したときに、約3秒間表示されます。

（例） FILE 100–0004

フォルダの通し番号　画像の通し番号

ファイル番号

ヒント

撮影時の画質モードとプリントの関係

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点（ピクセル）の数が用いられ、dpi（dot per inch）で示されます。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpiの値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。
プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モードをできるだけ高いものに設定することをおすすめします。☞「画質について」（P.24）

ご注意

- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器で DPOF 予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。
- カードに空き容量が少ないと予約できない場合があります。［カード残量がありません］と表示されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚までです。
- ［この画像は再生できません］と表示される画像でも、プリント予約を設定できることがあります。その場合、1 コマ再生だとプリント予約マーク（凸）は表示されません。複数の画像を表示（インデックス再生）しているときは、凸マークが表示され、プリント予約を確認できます。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。

1コマ予約する

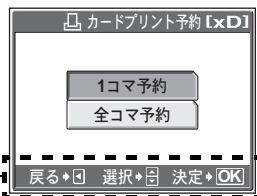
プリント予約する画像を選択して［1コマ予約］してみましょう。操作ガイドにしたがって設定します。

アルバム再生モードの場合、プリント予約するアルバムを選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［プリント予約］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［プリント予約］

1 ［1コマ予約］を選択し、OK/MENUを押します。

操作ガイド

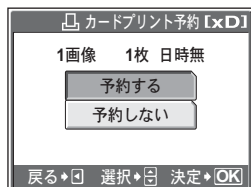
2 操作ガイドにしたがって ◁▷ を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽を押してプリント枚数を設定します。

- 🎥のついた画像はプリント予約できません。
- 複数の画像をプリント予約する場合は、手順2を繰り返します。

3 プリント予約が終わったらOK/MENUを押します。

4 ［無し］［日付］［時刻］から選択し、OK/MENUを押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　プリント予約した画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻　プリント予約した画像に撮影時刻がプリントされます。

5 **［予約する］を選択し、OK/MENUを押します。**

全コマ予約する

カードの中の全画像をプリント予約します。プリント枚数は1枚固定です。撮影日時のプリントを設定することができます。

アルバム再生モードの場合、アルバムの中の全画像をプリント予約します。プリント予約したいアルバムを選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［プリント予約］

☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［プリント予約］

1 **［全コマ予約］を選択し、OK/MENUを押します。**

2 **［無し］［日付］［時刻］から選択し、OK/MENUを押します。**

無し 画像のみプリントされます。
日付 プリント予約したすべての画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻 プリント予約したすべての画像に撮影時刻がプリントされます。

3 **［予約する］を選択し、OK/MENUを押します。**

プリント予約を解除する

画像のプリント予約を解除します。
すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［プリント予約］

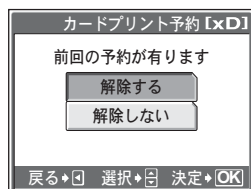
☞「メニューの操作方法」（P.17）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［プリント予約］

●すべての予約を解除する

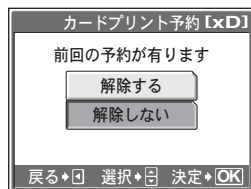
1 ［1コマ予約］または［全コマ予約］を選択し、OKを押します。

2 ［解除する］を選択し、OKを押します。

- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。

●1コマずつ予約を解除する

1 ［1コマ予約］を選択し、OKを押します。

2 ［解除しない］を選択し、OKを押します。

- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。

3 ◁▷を押してプリント予約を解除したいコマを選択し、▽でプリント枚数を0に設定します。

- 複数の画像のプリント予約を解除する場合は、手順3を繰り返します。

4 プリント予約の解除が終わったらOKを押します。

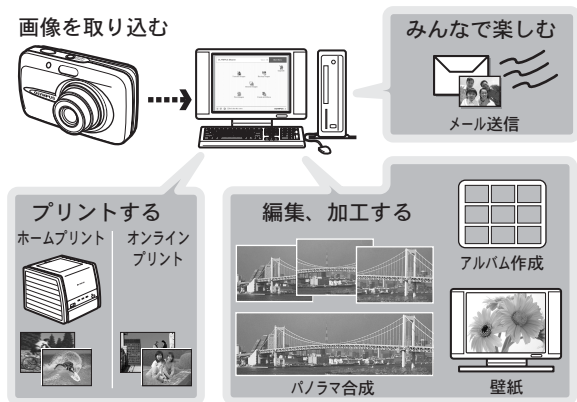
5 ［無し］［日付］［時刻］から選択し、OKを押します。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

6 ［予約する］を選択し、OKを押します。

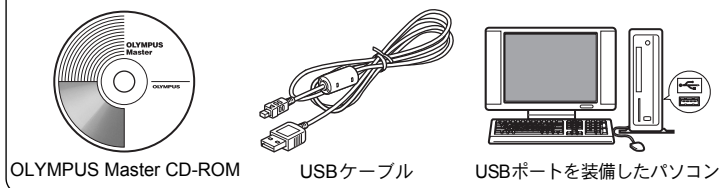
パソコン接続

8

撮影した画像をパソコンで利用してみましょう。
お好みの画像を選んでプリントするだけではありません。アプリケーションソフトを使って取り込んだ画像を日付別、目的別などに整理する、画像を編集・加工する、さらにインターネットを利用し、メールに画像を添付して送るなど、カメラの楽しみがどんどん広がります。
パソコンならではの画像の表示方法もありますね。スライドショーやカメラアルバムを作ったり、デスクトップの壁紙にして楽しんだりできます。

操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラの内蔵メモリまたはカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

以下のものを準備して操作をはじめてください。

OLYMPUS Master CD-ROM　USBケーブル　USBポートを装備したパソコン

OLYMPUS Masterをインストールする ☞P.110

↓

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する ☞P.114

↓

OLYMPUS Masterを起動する ☞P.115

↓

画像をパソコンに保存する ☞P.117

↓

カメラをパソコンから取り外す ☞P.118

ヒント

パソコンに取り込んだ画像を活用するには

→ グラフィックソフトを使用して画像を処理する場合は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカメラの内蔵メモリまたはカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

USB接続でカメラのデータを取り込めないとき

→ xD-ピクチャーカードは、PCカードアダプタ（別売）をお使いいただくと画像を取り込める場合もあります。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。

ご注意

- カメラをパソコンに接続して使用するときは、AC アダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は残量をご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切らないでください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

付属のOLYMPUS Masterを使う

画像の編集・管理を行うために付属のCD-ROMからOLYMPUS Masterをインストールしましょう。

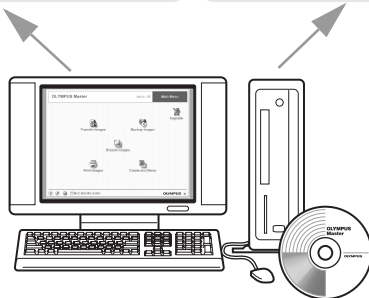
OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

カメラやメディアから画像を取り込む

画像を整理・管理する
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードから、目的の画像をすばやくみつけることができます。

画像を見る・ムービーを見る
スライドショーを楽しんだり、ムービーを再生することもできます。

画像を編集する
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。

フィルタ機能、補正機能で画像を補正する

パノラマ写真を作る
パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

プリンタを使ってプリントする
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

●動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP
CPU	Pentium III 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上

ご注意

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザーでログオンしてください。
- QuickTime 6以上、Internet Explorerがインストールされている必要があります。
- Windows XPは、Windows XP Professional/Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。

Macintosh

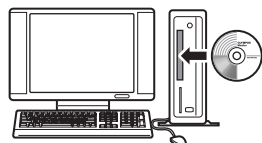
OS	Mac OS X 10.2以降
CPU	Power PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、32,000色以上

ご注意

- USBポートが標準装備されていないMacintoshでは、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- QuickTime 6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行う時は、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

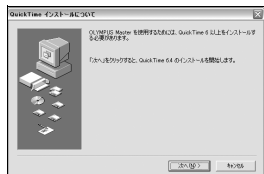
Windowsの場合

1 CD-ROM ドライブに CD-ROM を入れます。

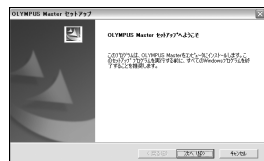
- OLYMPUS Masterセットアップ画面が表示されます。
- 表示されない場合は､「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROMアイコンをクリックしてください。

2 「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。

- QuickTimeインストール用の画面が表示されます。
- QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させるために必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。手順4に進んでください。

3 「次へ」ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「同意します」ボタンをクリックします。
- OLYMPUS Masterインストール用の画面が表示されます。

4 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。

- 途中、ユーザ情報入力画面が表示されたら、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、地域を選択して「次へ」ボタンをクリックします。シリアル番号はCD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。
- 途中、DirectXの使用許諾画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。Adobe ReaderはOLYMPUS Masterの取扱説明書を見るために必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。

5 Adobe Readerをインストールする場合は「OK」ボタンをクリックします。

- インストールしない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerインストール用の画面が表示されます。画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうか確認する画面が表示されます。蔵衛門体験版をインストールする場合は「はい」ボタンをクリックします。

6 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- インストール完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

7 再起動を求める画面が表示されたら、「今すぐコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

Macintoshの場合

1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。

- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

2 「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。

- OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
- 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「続ける」ボタン、「同意します」ボタンをクリックします。
- インストール完了画面が表示されます。

3 「終了」ボタンをクリックします。

- 最初の画面に戻ります。

4 「再起動」ボタンをクリックします。

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

カメラをパソコンに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

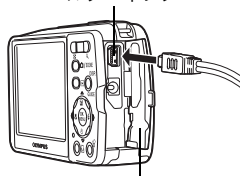
1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- レンズが出ていない。

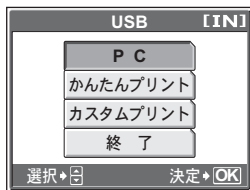
2 パソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを差し込みます。

- USBポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

3 付属のUSBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

4 ［PC］を選択し、OK/MENUを押します。

5 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windowsの場合
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。
- Macintoshの場合
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動しますので、iPhotoを終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップの「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。

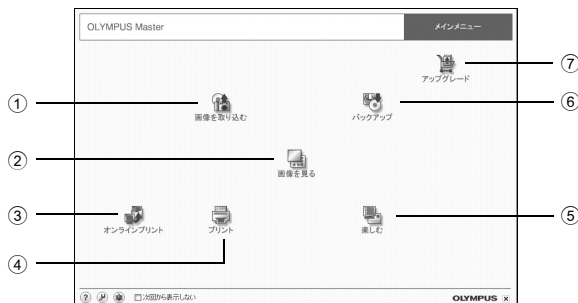
- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

Macintoshの場合

1 「OLYMPUS Master」フォルダ内の「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ情報入力画面が表示されますので、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、地域を選択してください。

- ユーザ情報入力画面に続いて、ユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

●OLYMPUS Masterのメインメニュー

① **「画像を取り込む」ボタン**
画像をカメラまたはメディアから取り込みます。

② **「画像を見る」ボタン**
ブラウズウィンドウが表示されます。

③ **「オンラインプリント」ボタン**
オンラインプリントウィンドウが表示されます。

④ **「プリント」ボタン**
プリントメニューが表示されます。

⑤ **「楽しむ」ボタン**
楽しむメニューが表示されます。

⑥ **「バックアップ」ボタン**
画像をバックアップします。

⑦ **「アップグレード」ボタン**
OLYMPUS Master Plusへアップグレードできるウィンドウが表示されます。

●OLYMPUS Masterを終了するには

1 メインメニューで「閉じる」ボタン ☒ をクリックします。

- OLYMPUS Masterが終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

カメラの画像をパソコンに保存します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を取り込む」ボタン をクリックします。

- 取り込み元選択メニューが表示されます。

2 「カメラから」ボタン をクリックします。

- 取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

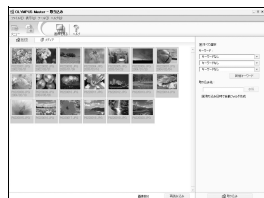
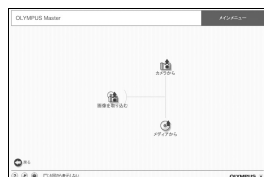
3 画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。

- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

4 「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

ご注意

- 画像の取り込み中はカードアクセスランプが点滅します。点滅している間は絶対に以下のことをしないでください。
  - 電池／カードカバーを開ける
  - ACアダプタを抜き差しする

●カメラを取り外すには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取り外すことができます。

1 カードアクセスランプの点滅が終わっていることを確認します。

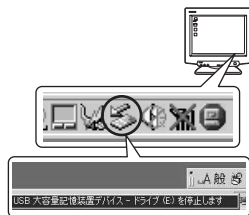
カードアクセスランプ

2 USBケーブルを抜く準備をします。

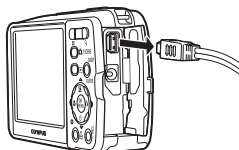
Windows 98SEの場合

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして､「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし､メニューを表示させます。
2 メニューの「取り出し」をクリックします。

Windows Me/2000/XPの場合

1 システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン をクリックします。
2 表示されたメッセージをクリックします。
3 「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

1 デスクトップの「名称未設定」(または「NO_NAME」)アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

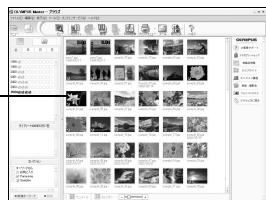
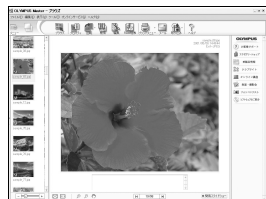
3 カメラから USB ケーブルを抜きます。

ご注意

- Windows Me/2000/XPの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

静止画／ムービーを見る

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を見る」ボタン をクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。

2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。

- ビューモードに切り換わり、画像が拡大されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

●ムービーを見るには

1　ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。

- ビューモードに切り換わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2　ムービー表示部下側の再生ボタン をクリックするとムービーが再生されます。

コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。

	項目	詳細
1	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
2	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
3	再生（一時停止）ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
4	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
5	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
6	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
7	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
8	ボリュームボタン	ボリューム調整スライダーが表示されます。

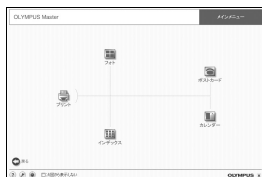
プリントする

フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1　OLYMPUS Masterメインメニューで「プリント」ボタン をクリックします。

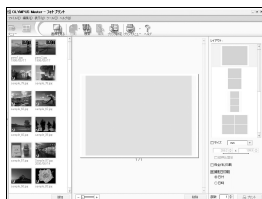
- プリントメニューが表示されます。

2 「フォト」ボタン をクリックします。

- フォトプリントウィンドウが表示されます。

3 フォトプリントウィンドウの「プリンタ設定」ボタンをクリックします。

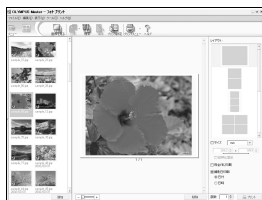
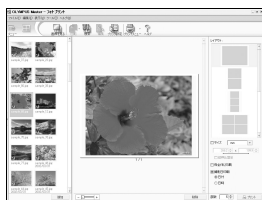
- プリンタ設定画面が表示されますので、必要に応じてプリンタの設定を行います。

4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

- 日付または日時を入れてプリントしたいときは、「撮影日印刷」にチェックをつけて「日付」または「日時」を選択します。

5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、「追加」ボタンをクリックします。

- 選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。

6 プリントする部数を設定します。

8 パソコン接続

7 **「プリント」ボタンをクリックします。**

- プリントが開始されます。
- フォトプリントウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

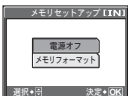
Windows：Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP

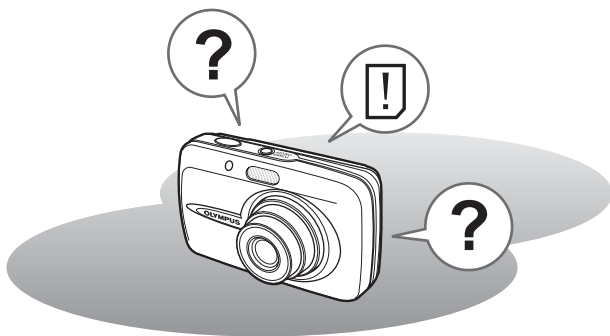
Macintosh：Mac OS 9.0-9.2/X

ご注意

- Windows 98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの、以下のフォルダのファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB¥INSTALL.EXE
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95/98/NT 4.0
  - Windows 95/98からアップグレードしたWindows 98SE
  - Mac OS 8.6以前
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

付録

9

オリンパスからのお知らせです。

- カメラを操作中エラーメッセージが表示されたとき
- **POWER ON/OFF** ボタンを押しても電源が入らず途方にくれたとき
- 大事なカメラの保管方法が知りたいとき
- 取扱説明書で使われている用語の意味を知りたいときなどなど。そんなときぜひご一読ください。

エラーメッセージ

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
撮影可能枚数が0です	内蔵メモリの撮影可能枚数、または時間が0のため、撮影できません。	カードを使用してバックアップするか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数、または時間が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
内蔵メモリに残量がありません	内蔵メモリに空き容量がなく、新たな記録をすることができません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、内蔵メモリのバックアップなど新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
画像が記録されていません	内蔵メモリまたはカードに記録画像がないため画像が再生できません。	内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
カードカバーが開いています	電池／カードカバーが開いています。	電池／カードカバーを閉めてください。
電池残量がありません	電池残量がありません。	電池を充電してください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
日時を設定してください	はじめてカメラを使用するときや長時間電池を抜いていたときには、日時が初期設定に戻っています。	日時を設定してください。
カードセットアップ [xD] 電源オフ カードフォーマット 選択 決定 OK	カードがこのカメラで使用できません。またはカードがフォーマットされていません。	別のカードに交換するか、カードをフォーマットしてください。 • [電源オフ] を選択し、OK/MENUを押して新しいカードを入れてください。 • [カードフォーマット] を選択し、OK/MENUを押してフォーマットを実行します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消去されます。
メモリセットアップ [IN] 電源オフ メモリフォーマット 選択 決定 OK	カメラの内蔵メモリにエラーがあります。	[メモリフォーマット] を選択しOK/MENUを押してフォーマットを実行します。フォーマットすると内蔵メモリのデータはすべて消去されます。

トラブルシューティング

●準備操作

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない／ボタンを押しても動作しない		
電源が切れている	**POWER ON/OFF** ボタンを押して、電源を入れてください。	P.9
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	–
寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	–
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームボタンを操作してください。	–
パソコンに接続している	パソコンと接続中、カメラは動作しません。	P.118

●撮影

原因	こうしましょう	参照ページ
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	–
再生モードになっている	**/SCENE** ボタンを押して撮影モードに切り換えてください。	P.9
フラッシュの充電が完了していない	一度シャッターボタンから指をはなし、（フラッシュ充電）マークの点滅が終わってから撮影してください。	P.42
電源が入っていない	**POWER ON/OFF** ボタンを押してください。	P.9
内蔵メモリまたはカードの容量がいっぱいになった	不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。	P.79, 117
撮影中や内蔵メモリまたはカードの書き込み中に電池がなくなった（液晶モニタが消灯した。）	電池を充電してください。（カードアクセスランプが点滅中は、消灯するまでお待ちください。）	–
液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している	メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	–
カードに問題がある	「エラーメッセージ」でご確認ください。	P.124

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタが見にくい		
カメラ内が結露*している	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	–
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.88
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎって撮影してください。	–
撮影時に液晶モニタの画面に縦スジが入る	晴天下のような明るい被写体にカメラを向けると、画面に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。	–
画像ファイルに記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない	日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.88
電池を抜いて放置していた	電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時設定が解除されます。もう一度、日時を設定してください。	P.88
ピントが合わない		
被写体との距離が近すぎる	被写体との距離をはなして撮影してください。20cm～50cmの距離で撮影する場合はマクロモードに設定してください。20cmよりも近づいて撮影するときはスーパーマクロモードに設定してください。	P.40
AFが苦手な被写体である	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.22
カメラ内が結露*している	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	–
液晶モニタが消灯した		
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームボタンを操作してください。	–

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュが発光しない		
フラッシュが［発光禁止］に設定されている	フラッシュを［発光禁止］以外に設定してください。	P.41
明るい被写体である	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュモードを［強制発光］に設定してください。	P.41
ムービー撮影をしている	ムービーモードではフラッシュはご使用になれません。以外の撮影モードにしてください。	P.44
スーパーマクロ撮影をしている	スーパーマクロ撮影ではフラッシュはご使用になれません。マクロを［マクロ　オフ］または［マクロ］に設定してください。	P.40
パノラマ撮影をしている	パノラマではフラッシュはご使用になれません。パノラマ撮影を解除してください。	P.52
電池の消耗が早い		
寒い中で使用している	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。	–
電池残量が正しく表示されていない	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。	–

* 結露：外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

●画像の再生

原因	こうしましょう	参照ページ
内蔵メモリの画像が再生できない		
カードが入っている	カードが入っているときは、カード内の画像しか再生できません。カードを抜いてください。	P.28
撮影した画像のピントが合っていない		
AFが苦手な被写体を撮影した	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.22
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ）	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。 また、シャッター速度が遅くなると手ぶれが起きやすくなります。夜景撮影や暗い状況でフラッシュを［発光禁止］にして撮影するときは三脚をご使用になるか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	—
レンズが汚れていた	レンズの汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。	P.134
撮影した画像が明るすぎる		
フラッシュの設定が［強制発光］になっていた	［強制発光］以外のフラッシュモードに設定してください。	P.41
中央部に暗いものがある	中央部に暗いものがあると周辺部が明るく写ります。露出補正をマイナス（－）側に設定してください。	P.46
ISO感度が高感度設定になっている	ISO感度を［オート］または［64］などの低感度に設定してください。	P.50
SCENEでを設定、またはISO感度を高感度に設定して、フラッシュを使用した	フラッシュを［発光禁止］に設定してください。	P.41

9
付録

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	—
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.41
フラッシュの設定が［⚡発光禁止］になっていた	［⚡発光禁止］以外のフラッシュモードに設定してください。	P.41
逆光状態で小さい被写体を撮影した	フラッシュモードを［⚡強制発光］に設定するか、［測光］を［スポット］に設定して撮影してください。	P.41, 48
連写撮影した	連写中はシャッター速度の最長時間が短くなるので、暗い場所では通常よりも暗く写るおそれがあります。［ドライブ］を［単写］に設定してください。	P.49
中央部に明るいものがある	中央部に明るいものがあると全体が暗く写ります。露出補正をプラス（+）側に設定してください。	P.46
室内で撮影した画像の色がおかしい		
照明の色が影響した	照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.47
撮影する構図の中に白の基準になるものがなかった	白いものを入れて撮影するか、フラッシュモードを［⚡強制発光］に設定して撮影してください。	P.41
ホワイトバランスの設定を間違えた	照明に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定し直してください。	P.47
画像の一部が暗い		
レンズに指やストラップがかかってしまった	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	—

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタ上で再生できない		
電源が入っていない	▶ボタンを押して再生モードで電源を入れてください。	P.10
撮影モードになっている	▶ボタンを押して再生モードに切り換えてください。	P.9
内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていない	液晶モニタに［画像が記録されていません］と表示されます。撮影してから再生してください。	–
カードに問題がある	「エラーメッセージ」でご確認ください。	P.124
テレビに接続している	ビデオケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。	P.76
1コマ消去・全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている	画像のプロテクトを解除してください。	P.78
カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている	使用する地域の映像信号にビデオ出力の設定を合わせてください。	P.77
テレビの映像信号の設定が間違っている	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	–
液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調節してください。	P.88
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎってください。	–
カメラに内蔵されているフレームやタイトル、カレンダーが表示されない		
カメラの内蔵メモリにエラーが発生し、メモリフォーマットが行われた	OLYMPUS Masterを使ってカメラにフレーム、タイトル、カレンダーを追加してください。	–

●パソコンやプリンタとの接続

原因	こうしましょう	参照ページ
プリンタと接続できない		
USB ケーブルでプリンタに接続したあと、液晶モニタで［PC］を選択した	USB ケーブルを抜いて最初の手順からやり直してください。	P.93, 95
プリンタが PictBridge に対応していない	ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。または、プリンタメーカーにお尋ねください。	–
パソコンでカメラが認識されない		
パソコンがカメラの認識に失敗した	カメラからUSBケーブルを抜いて、もう一度接続し直してください。	P.114
USB ドライバがインストールできていない	OLYMPUS Masterをインストールしてください。	P.110

アフターサービス

●保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

●当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

●海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

●本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

●修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

●カメラのお手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

電池／充電器

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

ご注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

●カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

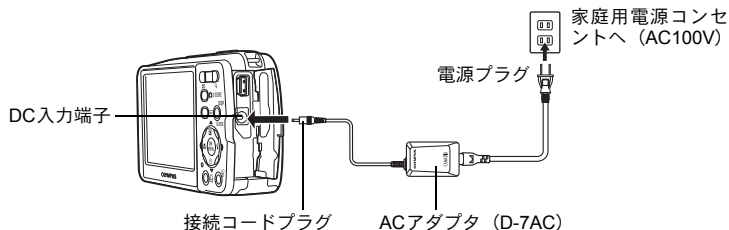
ご注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

電池／充電器について

- 電池は、当社製リチウムイオン電池（LI-12B）1個を使用します。それ以外の電池は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、液晶モニタで画像を表示する。
  - パソコンやプリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（LI-10C）で充電を行ってください。
- 付属の充電池の充電時間は通常約120分（目安）です。
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
- 充電器はAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプターが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

ACアダプタ（別売）

パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタのご使用をおすすめします。
家庭用コンセントを使う場合は専用の ACアダプタ（D-7AC）を使用します。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

ご注意

- 電池を使用してカメラをパソコンやプリンタに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。なお、接続中には、ACアダプタを抜き差ししないでください。
- カメラの電源が入っているときに電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- ACアダプタはAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。
- ACアダプタ使用時は、カメラの生活防水は機能しません。
- ACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。

使用上のご注意

使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。

● 本体の電気接点部には手を触れないでください。

● レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

● 当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

● 電池の（＋）（－）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

● 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（+）（−）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

用語解説

画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

画素数
画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

けられ
撮影画面内に邪魔なものが入って、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合などに視野の四隅が暗くなることもいいます。

コントラスト検出方式
被写体までの距離を測るのに使用している方法。被写体のコントラストの大小を検出することで、ピントがあったかどうかを検出します。

絞り
レンズを通して入ってくる光量を調節する機構。値が小さいほど光が多く入り、値が大きいほど入る光が少なくなります。そのレンズで使える最小の絞り値にすることを開放するといい、絞り値を大きくするのを絞り込むといいます。

スリープモード（待機状態）
電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

ノイズリダクション
暗いところの撮影では、CCDにあたる光の量が少なくなるので、遅いシャッター速度で撮影します。長時間露光時はCCDに光があたっていない部分からも信号が発生し、ノイズとして画像に記録されます。ノイズリダクションが働くとカメラが自動的にノイズを軽減してきれいな画像を撮影することができます。

プログラムオート（Program auto）
プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

露出
画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

●アルファベット順

CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

ESP測光（electro selective pattern）／デジタルESP測光
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

EV（exposure value）
露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

ISO
国際標準化機構（ISO）の規格で決められた、フィルム感度の表示法。通常「ISO100」のように表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

JPEG（joint photographic experts group）
静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC/PAL（National Television Systems Committee/Phase Alternating Line）
テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

PictBridge
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

TFT（thin-film transistor）液晶
薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

資料

1章から8章で説明したカメラのすべての機能を網羅的に紹介しています。
トップメニュー・モードメニューの一覧など、必要に応じてご覧ください。
索引もありますので、目次からは見つからない機能や項目が記載されているページを探すときにお使いください。また、「メニュー一覧」も索引の役目をはたしますので、有効にご活用ください。

メニュー一覧

● 撮影モード（動画をのぞく）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	測光	ESP ／スポット	P.48
		ドライブ	単写／連写／高速連写	P.49
		デジタルズーム	オフ／オン	P.39
		AF 方式	iESP ／スポット	P.51
		パノラマ		P.52
	メモリ（カード）	全コマ消去	消去／中止	P.80
		カードフォーマット※1	フォーマット／中止	P.81
		バックアップ※1	バックアップ／中止	P.78
	設　定	リセット	実行／中止	P.83
		（言語）	日本語／ ENGLISH	P.84
		（カメラ）	起動する／起動しない	P.11
		PW ON 設定	オフ／ 1 ／ 2	P.84
		レックビュー	オフ／オン	P.86
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.86
		ピクセルマッピング		P.87
		モニタ調整		P.88
		日時設定		P.88
		デュアルタイム設定	オフ／オン	P.89
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.77
		ヒストグラム表示	オフ／オン	P.55
		罫線表示	オフ／（格子）／（対角線）	P.55
ISO 感度			オート／ 64 ／ 100 ／ 200 ／ 400 ／ 800 ／ 1600	P.50
画質モード	SHQ			P.24
	HQ			
	SQ1		2560 × 1920 ／ 2272 × 1704 ／ 2048 × 1536 ／ 1600 × 1200	
	SQ2		1280 × 960 ／ 1024 × 768 ／ 640 × 480	
ホワイトバランス			オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯 1 ／蛍光灯 2 ／蛍光灯 3	P.47

※1 カード使用時のみ表示されます。

● 撮影モード（🎥）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	測光	ESP ／スポット	P.48
	メモリ（カード）	全コマ消去	消去／中止	P.80
		カードフォーマット※1	フォーマット／中止	P.81
		バックアップ※1	バックアップ／中止	P.78
	設　定	リセット	実行／中止	P.83
		🗣	日本語／ ENGLISH	P.84
		📷	起動する／起動しない	P.11
		PW ON 設定	オフ／ 1 ／ 2	P.84
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.86
		ピクセルマッピング		P.87
		モニタ調整		P.88
		日時設定		P.88
		デュアルタイム設定	オフ／オン	P.89
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.77
デジタルズーム			オフ／オン	P.39
画質モード			SHQ 640 × 480 ／ HQ 320 × 240 ／ SQ 160 × 120	P.24
ホワイトバランス			オート／晴天／ 曇天／電球／蛍光灯 1 ／ 蛍光灯 2 ／蛍光灯 3	P.47

※1　カード使用時のみ表示されます。

● 再生モード（静止画のとき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.78
		回転表示	+90° ／ 0° ／ -90°	P.58
		スライドショー	標準／フェード／スライド／ズーム	P.67
		プリント予約	1 コマ予約／全コマ予約	P.102
		アルバム登録	選択登録／カレンダー登録／一括登録／中止	P.61
	編　集	リサイズ	640 × 480 ／ 320 × 240 ／中止	P.68
		赤目補正	新規作成／中止	P.68
		モノクロ作成	新規作成／中止	P.68
		セピア作成	新規作成／中止	P.68
		フレーム合成	新規作成／中止	P.70
		タイトル合成	新規作成／中止	P.70
		カレンダー合成	新規作成／中止	P.70
		明るさ調整	新規作成／中止	P.74
		鮮やかさ調整	新規作成／中止	P.74
	メモリ（カード）	全コマ消去	消去／中止	P.80
		カードフォーマット※1	フォーマット／中止	P.81
		バックアップ※1	バックアップ／中止	P.78
	設　定	リセット	実行／中止	P.83
		(言語アイコン)	日本語／ ENGLISH	P.84
		(カメラアイコン)	起動する／起動しない	P.11
		PW ON 設定	オフ／ 1 ／ 2	P.84
		画面登録	決定／中止	P.85
		モニタ調整		P.88
		日時設定		P.88
		デュアルタイム設定	オフ／オン	P.89
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.77

● 再生モード（静止画のとき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
編集※2				—
アルバム				P.60
カレンダー				P.58

※1 カード使用時のみ表示されます。

※2 ［モードメニュー］▶［編集］のメニューと同様です。

● 再生モード（ムービーのとき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.78
		アルバム登録	選択登録／カレンダー登録／一括登録／中止	P.61
	編　集	インデックス作成	新規作成／中止	P.75
	メモリ（カード）	全コマ消去	消去／中止	P.80
		カードフォーマット※1	フォーマット／中止	P.81
		バックアップ※1	バックアップ／中止	P.78
	設　定	リセット	実行／中止	P.83
		（言語アイコン）	日本語／ ENGLISH	P.84
		（カメラアイコン）	起動する／起動しない	P.11
		PW ON 設定	オフ／ 1 ／ 2	P.84
		画面登録	決定／中止	P.85
		モニタ調整		P.88
		日時設定		P.88
		デュアルタイム設定	オフ／オン	P.89
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.77
ムービープレイ				P.59
アルバム				P.60
カレンダー				P.58

※1 カード使用時のみ表示されます。

● 再生モード（アルバム再生モードのとき）

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
アルバムメニュー	プロテクト	オフ／オン	P.78
	回転表示※1	+90°／0°／-90°	P.58
	タイトル画像選択	決定／中止	P.64
	解除	選択解除／全コマ解除／中止	P.64
	プリント予約※1	1 コマ予約／全コマ予約	P.102
	モニタ調整		P.88
	ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.77
スライドショー※1 ／ムービープレイ※2			P.59, 67
アルバム終了			P.63
アルバム選択			P.63

※1 ムービーのときは表示されません。

※2 静止画のときは表示されません。

初期設定一覧

各機能は工場出荷時には下記のように設定されています。

● 撮影モード

情報表示（**DISP.**／**GUIDE**）	オフ
光学ズーム	ワイド
マクロ／スーパーマクロ	マクロ　オフ
セルフタイマー	セルフタイマー　オフ
フラッシュ	静止画撮影：オート発光 ムービー撮影：発光禁止
画質モード	HQ
露出補正	0.0
ホワイトバランス	オート
測光	ESP
ドライブ	単写
ISO感度	オート
デジタルズーム	オフ
AF方式	スポット
レックビュー	オン
ファイル名メモリー	リセット
ヒストグラム表示	オン
罫線表示	

● 再生モード

情報表示（**DISP.**／**GUIDE**）	オフ
プロテクト	オフ
回転表示	0°
スライドショー	標準

● その他

🗣☰	日本語
📷	起動しない
PW ON設定	1
モニタ調整	±0
日時設定	年月日 2005.01.01 00:00
デュアルタイム設定	オフ
ビデオ出力	NTSC

撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能

撮影モード／撮影シーンによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

<table>
<tr><th>撮影シーン
機能</th><th>P</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>フラッシュ</td><td colspan="8">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>マクロ</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td colspan="2">○</td><td colspan="4">–</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>光学ズーム</td><td colspan="9">○※1</td></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td>○</td><td colspan="8">–</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="9">○※2</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>測光</td><td colspan="9">○※3</td></tr>
<tr><td>ドライブ</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">–</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="7">○</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="9">○※4</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>バックアップ</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>デュアルタイム設定</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>罫線表示</td><td colspan="9">○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>撮影シーン
機能</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>フラッシュ</td><td>○</td><td colspan="4">–</td><td>○</td><td colspan="3">–</td></tr>
<tr><td>マクロ</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td>–</td><td>○</td><td colspan="2">–</td><td colspan="4">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>光学ズーム</td><td colspan="9">○※1</td></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td colspan="9">–</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="9">○※2</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>測光</td><td colspan="9">○※3</td></tr>
<tr><td>ドライブ</td><td>○</td><td colspan="3">–</td><td colspan="4">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="2">–</td><td colspan="7">○</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="9">○※4</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td>–</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>バックアップ</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>デュアルタイム設定</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td colspan="9">○</td></tr>
<tr><td>罫線表示</td><td colspan="9">○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>撮影シーン
機能</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>フラッシュ</td><td>–</td><td colspan="6">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>マクロ</td><td colspan="4">○</td><td>–</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td colspan="4">○</td><td>–</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="2">–</td><td>○</td><td colspan="3">–</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>光学ズーム</td><td colspan="8">○※1</td></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td colspan="3">–</td><td colspan="3">○</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="8">○※2</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>測光</td><td colspan="8">○※3</td></tr>
<tr><td>ドライブ</td><td colspan="2">–</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td>–</td><td colspan="5">○</td><td>–</td><td>○</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="7">○※4</td><td>–</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td colspan="2">–</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>バックアップ</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="2">–</td><td colspan="2">○</td><td>–</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリ</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>デュアルタイム設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>罫線表示</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
</table>

※1 、2のときは広角（W側）固定になります。
※2 、、、、のときは［1600 × 1200］以下の画質モードのみ設定できます。のときは［640 × 480］に固定されます。
※3 のときは［ESP］に固定されます。
※4 のときは［iESP］に固定されます。

索引

索引
資料
10

な行

は行

ま行

や行

ら行

お問い合わせいただく前に（お願い）

●より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
●FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
●問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

●お名前（フリガナ）

●連絡先：郵便番号
ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
電話番号/FAX
E-mail

●製品名（型番）：

●シリアル番号（製品底面に記載されています）：

●お買い上げ日：

●問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：

＊以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。
●ご使用のパソコンの種類：

パソコンメーカー・型番等

●メモリの容量　ハードディスクの空き容量：

●OS名とバージョン：
（Windows）コントロールパネル–システム–デバイスマネージャーの内容
（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容
●その他接続されている周辺機器名：

●問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：

●問題のご使用弊社ソフト名とバージョン

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を弊社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報については
オリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in China

VH177303